

月 日	課 長	係 長	係 員
決 裁 供 覧			

(第2号様式)

アイランドシティはばたき公園指定管理者事業報告書

令和 7年 4月 30日

福 岡 市 長

指定管理者

はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

事業を実施しましたので、下記の通り報告します。

- 1 管理業務実施報告
- 2 利用状況報告
- 3 使用料収納実績
- 4 利用者アンケート結果、利用者からの苦情と件数
- 5 利用者サービスの向上・適正利用に向けた取り組みとその進捗状況
- 6 公園の効用の十分な発揮に向けた取り組みとその進捗状況
(施設の適切・効率的な維持管理、公園の特色を活かす事業展開)
- 7 職員の育成、地域との連携に向けた取り組みとその進捗状況
- 8 指定管理経費の節減（効率的な配分）に向けた取り組みとその進捗状況
- 9 社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮に向けたとその進捗状況
- 10 修繕費執行状況
- 11 光熱水費の管理状況
- 12 指定管理者企画事業の収支状況
- 13 指定管理経費決算報告
- 14 提案項目の進捗状況
- 15 指定管理者企画事業の進捗状況
- 16 参考資料（ニュースレター、チラシ、イベント写真など）

[illegible]

管理業務の内容			点検業務の内容	法定点検	備考	適用	実施月											
大分類	中分類	小分類					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 保守点検管理業務	01. 建築物等保守管理業務	001. 建築物保守	建築外部仕上げ部保守点検業務		*日常点検(目視等)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
			建築構造部保守点検業務		*日常点検(目視等)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		002. 建築物の敷地及び構造	外溝等付属工作物保守点検業務		*日常点検(目視等)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
			建築物の昇降機以外の建築設備	●	*定期点検3年に一回	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	02. 電気・通信情報設備管理業務	法令点検	建築物の昇降機	●	*定期点検1回/年	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
			防火設備	●	*定期点検1回/年	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		003. 自動扉保守点検業務	自動扉保守点検業務	●	*点検回数4回/年	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
			高圧受変電設備保守点検業務	●	*日常点検(目視等)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		004. 動力・電灯設備	動力・電灯設備保守点検業務	●	*日常点検(目視等)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			外灯設備保守点検業務	●	*日常点検(目視等)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
03. 消防設備管理業務	003. 自家発電設備	自家発電設備保守点検業務	●	*定期点検1回/年	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
		月次点検	●	*点検回数1回/月	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	001. 消防設備	消防設備(消防報告1回/年)	●	*機器点検1回/6ヶ月(非常電源の負荷運転を含む)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		屋内消火栓設備法定点検業務	●	*定期点検1回/年	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
R6年度は未実施→R7年度より実施します。(総合システム社と契約済)																		

[illegible]

2 利用状況報告

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

◆アイランドシティはばたき公園利用者数

	R6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
団体利用数	(団体)	1	0	1	0	0	1	2	2	1	1	0	0	9	別紙-1参照
団体利用数	(人)	80	0	90	0	0	22	128	280	50	30	0	0	680	別紙-1参照
イベント	回数	0	8	6	13	5	6	7	6	6	6	10	10	83	
イベント参加	人数	0	108	45	129	48	21	62	35	59	33	54	65	659	
														0	
アンケート回収	枚数	0	0	42	86	40	12	55	15	47	33	47	18	395	
内 東区		0	0	11	61	24	10	48	1	32	17	36	14	254	
福岡市内	人数	0	0	28	15	13	2	5	5	6	16	7	3	100	
福岡県内	人数	0	0	3	8	3	0	2	8	9	0	4	1	38	
福岡県外	人数	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3	
構成比															
東区				26.2%	70.9%	60.0%	83.3%	87.3%	6.7%	68.1%	51.5%	76.6%	77.8%	64.3%	
福岡市内				66.7%	17.4%	32.5%	16.7%	9.1%	33.3%	12.8%	48.5%	14.9%	16.7%	25.3%	
福岡県内				7.1%	9.3%	7.5%	0.0%	3.6%	53.3%	19.1%	0.0%	8.5%	5.6%	9.6%	
福岡県外				0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	
合計				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
ボランティア活動	回数	0	2	2	4	2	0	2	0	0	1	2	2	17	
ボランティア参加	人数	0	6	10	10	5	0	31	0	0	1	2	2	67	
双眼鏡貸出し数	回数	42	78	67	17	13	19	26	24	8	29	8	37	368	

◆有料駐車場利用台数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
駐車場利用台数		355	920	659	655	515	784	851	841	857	980	1,007	1,211	9,635
内 一般	台	306	764	520	520	397	667	706	690	739	857	876	1,044	8,086
ミライロID	台	2	9	16	16	14	7	8	12	13	17	17	10	141
障がい者利用	台	2	9	3	4	1	4	0	2	6	3	4	3	41
関係者	台	45	138	120	115	103	106	137	137	99	103	110	154	1,367
関係者を除く	台	310	782	539	540	412	678	714	704	758	877	897	1,057	8,268
電子マネー	台	43	41	46	48	47	74	104	101	116	155	137	165	1,077
合計	台	353	823	585	588	459	752	818	805	874	1,032	1,034	1,222	9,345

◆有料駐車場使用料

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
現金	円	40,800	103,600	98,100	80,800	59,400	143,200	109,300	163,400	148,900	167,700	165,900	192,700	1,473,800
電子マネー	円	8,100	8,200	15,100	13,500	9,000	17,700	32,900	43,900	41,300	68,500	49,900	63,400	371,500
合計	円	48,900	111,800	113,200	94,300	68,400	160,900	142,200	207,300	190,200	236,200	215,800	256,100	1,845,300

No	月	日	団体名	人数
1	4	9	九州産業大学	80
2	6	25	はばたき小学校（2年生）	90
3	9	20	西日本短期大学緑地環境学科	22
4	10	5	福岡ECO動物海洋専門学校（湿地内生物学習、草抜き）	28
5	10	28	はばたき小学校（2年生）	100
6	11	1	福岡市インターシップ	30
7	11	29	福岡市建設技術講習会	250
8	12	16	はばたき小学校（6年生）	50
9	1	31	九州国道協会	30
	合計			680

3 使用料収納実績

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

※4/26供用開始

◆有料駐車場

	月	収納金（円）	駐車場利用台数	内訳（台）				
				一般	ミライロ-ID	障がい者	関係者	関係者除く
R6年	4月	40,800	355	306	2	2	45	310
	5月	103,600	920	764	9	9	138	782
	6月	98,100	659	520	16	3	120	539
	7月	80,800	655	520	16	4	115	540
	8月	59,400	515	397	14	1	103	412
	9月	143,200	784	667	7	4	106	678
	10月	109,300	851	706	8	0	137	714
	11月	163,400	841	690	12	2	137	704
	12月	148,900	857	739	13	6	99	758
R7年	1月	167,700	980	857	17	3	103	877
	2月	165,900	1,007	876	17	4	110	897
	3月	192,700	1,211	1,044	10	3	154	1,057
	合計	1,473,800	9,635	8,086	141	41	1,367	8,268

令和6年度の使用料収納実績は下記の通りです。

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

収納金の状況

区分	前月からの繰越		収納金		払込金		翌月への繰越	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
4月分	0	0	2	40,800	1	35,200	1	5,600
5月分	1	5,600	5	103,600	5	94,400	1	14,800
6月分	1	14,800	5	98,100	5	94,200	1	18,700
7月分	1	18,700	6	80,800	6	93,500	1	6,000
8月分	1	6,000	5	59,400	5	60,000	1	5,400
9月分	1	5,400	5	143,200	5	115,600	1	33,000
10月分	1	33,000	5	109,300	5	134,100	1	8,200
11月分	1	8,200	5	163,400	5	150,900	1	20,700
12月分	1	20,700	5	148,900	5	144,600	1	25,000
1月分	1	25,000	5	167,700	5	174,000	1	18,700
2月分	1	18,700	5	165,900	5	162,500	1	22,100
3月分	1	22,100	5	192,700	5	178,300	1	36,500
合計			58	1,473,800	57	1,437,300		

現金領収帳の受払状況

前年度からの繰越 (冊)	受 入		使用済み 領収帳 (冊)	交付中 領収帳 (冊)	未交付 領収帳 (冊)
	本年度中 作成 (冊)	合計 (冊)			
0	1	1	0	1	0

現金領収書使用状況

	消印済 (冊)	書損 (枚)	累計 (枚)
4月分	0	0	0
5月分	0	0	0
6月分	0	0	0
7月分	0	0	0
8月分	0	0	0
9月分	0	0	0
10月分	0	0	0
11月分	0	0	0
12月分	0	0	0
1月分	0	0	0
2月分	0	0	0
3月分	0	0	0
合計	0	0	

4 利用者アンケート結果、利用者からの苦情と件数

◆苦情・要望に関して

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

※集計

		件数
苦情件数	施設に関して	1
	管理に関して	1
	合計	0
要望件数	施設に関して	1
	管理に関して	0
	合計	1
合計	施設に関して	2
	管理に関して	1
	合計	3

※詳細

	月	申し出方法	項目	内容	対応策
苦情	10月	調整課より 連絡あり	管理	子どもの自転車が坂道をスピードを付けて下っている。危険なので指導してほしい	注意喚起の掲示を行う。その後は確認できていない
	11月	メール	施設	バードハイドの観察窓の高さが適当でない所以对策を講じてほしい	貸し出し用の踏み台を準備し、希望者に貸し出す様にした。その旨を申し入れ者に返信完了。その後の反応はなし
要望	5月	電話	施設	はばたき小前など横断歩道を新設してほしい。返答は不要	市役所にその旨を伝える。行政も警察署に要請をしており、検討をして頂いている。

4 利用者アンケート結果、利用者からの苦情と件数

◆アンケートに関して

アンケート

		人数	小計	構成比	コメント
居住地	東区	293		67.5%	東区、市内の合計で91.0%と近隣からの来園者で占める。今後広域からの来園者増を目指して活動する
	福岡市内	102		23.5%	
	福岡県内	37		8.5%	
	福岡県外	2	434	0.5%	
交通手段	自家用車	321		68.2%	自家用車が大半を占めており、イベント時では家族連れの利用者が多い。近距離でも車の利用で来園される傾向がある
	自転車	67		14.2%	
	バイク	7		1.5%	
	バス	18		3.8%	
	電車	14		3.0%	
	徒歩	43		9.1%	
	のりーと	1	471	0.2%	
年齢	1～3年生	181		42.0%	イベントでは、小学生とその保護者の来園が圧倒的で、中高生は少ない。保護者の年齢は40代が多い
	4～6年生	56		13.0%	
	中高生	4		0.9%	
	20代	18		4.2%	
	30代	38		8.8%	
	40代	70		16.2%	
	50代	29		6.7%	
誰と来ましたか	家族	340		78.7%	家族連れの来園が大半を占める
	友人	17		3.9%	
	一人	63		14.6%	
	その他	12	432	2.8%	
はばたき公園には初めて来ましたか	毎日	8		1.8%	開園して1年が経過するが、初めての来園が37.6%となる。この数値はまだ高いと考えており、今後PR活動に重きを置きたい
	週2～3回	28		6.4%	
	週1回	12		2.8%	
	月2～3回	58		13.3%	
	月1回	64		14.7%	
	年2～3回	62		14.2%	
	それ以下	40		9.2%	
	初めて	164	436	37.6%	
公園はどうでしたか	環境に役立つ	163		20.1%	各項目に突出したものはないが、環境学習には興味がある
	学習のきっかけ	198		24.4%	
	運動が出来る	59		7.3%	
	癒される	81		10.0%	
	安全だった	62		7.6%	
イベントは楽しめましたか	楽しめた	412		94.5%	ほとんどの方が楽しめたの回答だが、さらにイベント内容などマンネリ化防止を図る
	普通	17		3.9%	
	楽しめなかった	7	436	1.6%	
公園の満足度（湿地や海に親しめる空間になっていたか）	満足	154		77.0%	完全開園ではないため、多少不満も感じている模様
	やや満足	31		7.1%	
	どちらでもない	9		4.5%	
	やや不満	4		2.0%	
	不満	2	200	1.0%	
また参加したいですか	思った	373		85.9%	ほとんどの方がまた参加したいとの回答だが、さらにイベント内容などマンネリ化防止を図る
	都合が合えば	48		11.1%	
	思わない	0		0.0%	
	わからない	13	434	3.0%	
イベント情報はどこで知りましたか	公園HP	132		28.9%	隔月のニュースレターの発行に効果が出ている。2,000枚を「はばたき小」「照葉小」「照葉北小」に配布をしている
	市政だより	74		16.2%	
	公園配布チラシ	50		11.0%	
	学校での配布物	137		30.0%	
	SNSなど	34		7.5%	
	その他	29	456	6.4%	

5. 利用者サービス向上・適正利用に向けた取り組みとその進捗状況

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和6年度アイランドシティはばたき公園における「利用者サービス向上・適正利用に向けた取組みとその進捗状況」につきましては、以下の通りです。

取り組み内容	進捗状況
バードハイド用踏み台の貸し出し	利用者の方から身長の高い方でも観察しやすくして欲しいとの要望を受けて、無料で踏み台を貸し出しています。
バードハイドに「ポケット図鑑」の配置	バードハイド2ヶ所に公園で観察できる野鳥の「ポケット図鑑」は配置しました。掲載している野鳥の「写真」はすべて園内で撮影したものを使用しています。
QRコードで鳥の鳴き声	QRコードで園内で観察できる代表的な鳥の鳴き声が聞ける様にしました。（ヒバリ、オオヨシキリ、セッカなど）
双眼鏡の無料貸し出し	貸し出しの際、双眼鏡の取扱の説明を行い、正しく使っていただいています。

6. 公園の効用の十分な発揮に向けた取り組みとその進捗状況

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和6年度アイランドシティはばたき公園における「公園の効用など取り組んだ内容とその進捗状況」につきましては、以下の通りです。

取り組み内容	進捗状況
公園の特徴を活かしたイベント開催	毎月第三土曜日、日曜日には「バードウォッチング」「科学の目」「しぜん生きもの調査隊」「サポーター養成講座」「レンジャー養成講座」を開催し、公園内の自然環境を活用したイベントを行っています。
三二博物館	園内の「昆虫」「爬虫類」「植物」などを飼育・展示し、さらに環境学習に役立つ「ポスター」などを掲示し、季節に応じて内容を変えています。
夏休み特別企画イベント	夏休みの自由研究の題材として、身近な生きものをテーマにした講座を開催しました。「ダンゴムシ」「ワラジムシ」「鳥のくちばし」「鳥の巣」「セミの大調査」「セミの標本づくり」「鳥の羽」「鳥の卵」「夜の生きもの観察会」
開園1周年イベント	当公園の認知向上のため「一周年イベント」を開催しました。通常のイベント内容とは別に「キッチンカー」「各ワークショップ」「チョークでお絵描き」など家族連れで来園されました。
アイランドシティ広報会議の参加	隔月で開催されている「アイランドシティ広報会議」に毎回参加をし、当公園の特徴、見どころなどのPRを行い、又他の施設との情報交換を積極的に活動しました。

7. 職員の育成、地域との貢献

指定管理者：はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和6年度アイランドシティはばたき公園における「職員の育成、地域との貢献の取り組み内容とその進捗状況」につきましては、以下の通りです。

取り組み内容	進捗状況
職員研修の実施	毎月1回、職員のミーティングを行い、各テーマに沿った研修を行いました。内容によっては「YouTube」の映像観て勉強会を行いました。
各講習会の受講	上級救急救命（所長、副所長）個人情報保護・人権講習（副所長、■■■■）労働安全衛生（副所長）、刈り払機取扱講習 ■■■■ が受講し、その内容は、職員研修時に一般職員へフィードバックし情報を共有しました。
月2回の園外の清掃活動	毎月（1日、15日）2回ボランティア参加者を募り、我々と一緒に清掃活動を行いました。（海岸線道路、公園周辺の道路、近隣の街区公園など）
ニュースレターの発行	隔月に近隣の小学校（はばたき、照葉、照葉北）にニュースレター（全2,000枚）を配布し、地域の子どもたちにイベント紹介や生きものに関する内容を掲載し、自然、環境への啓蒙などを行いました。
アイランドシティ文化祭&秋祭りへ参加	10月開催の文化祭&秋祭りに参加をし、各自治会、公民館と連携をして実施しました。

8. 指定管理経費の節減

指定管理者：はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和6年度アイランドシティはばたき公園における「指定管理経費節減の取り組み内容とその進捗状況」につきましては、以下の通りです。

取り組み内容	進捗状況
光熱費の節減	室内の温度を適温にする様にエアコンの調節を行いました。（夏季：28℃、冬季：18℃）さらに、服装でも調節するなど工夫をしました。
親会社による除草作業	除草、土木作業は外部業者に委託せず、グループ内の会社で行い、経費削減に努めました。
コンポスト作製	園内の残渣はコンポスト（たい肥）化により処分費の削減に努めました。
学生ボランティアの活用	西日本短期大学、福岡ECO海洋専門学校との連携をとり、湿地内の除草、草抜きの作業を行いました。
有能な職員の採用	自然、環境関係の知識、経験のある職員を採用し、維持管理業務の効率化、円滑化を図りました。

9. 社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮に向けた取り組みとその進捗状況

指定管理者：はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和6年度アイランドシティはばたき公園における「社会的貢献などの取り組み内容とその進捗状況」につきましては、以下の通りです。

取り組み内容	進捗状況
個人情報保護	人物が特定できる「名簿」などは施設のできる場所で保管し、事務所外への持ち出しは厳禁しました。
環境学習の実施	毎月第3日曜日に「環境学習」に関連する内容を盛り込んだイベントを行いました。

10. 修繕費執行状況

令和6年度の「修繕費」については発生しませんでした。

指定管理者：はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

11. 光熱水費の管理状況表

令和6年度の「光熱水費の管理状況」は下記の通りです。

指定管理者：はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

令和6年度		
項 目	使用量	料 金
電 気	16,804 (kw/h)	634,028 (円)
水 道	32 (㎡)	52,879 (円)
合 計	16,836	686,907 (円)

◆電気使用量並びに料金

日 付	項 目	使用量 (kw/h)	料金 (円)	内消費税 (円)
4月分	4/1~4/30	0	0	0
5月分	5/1~5/31	507	22,651	2,059
6月分	6/1~6/30	1,118	43,297	3,936
7月分	7/1~7/31	1,076	43,916	3,992
8月分	8/1~8/31	1,591	62,498	5,681
9月分	9/1~9/30	2,513	92,322	8,392
10月分	10/1~10/31	1,652	57,894	5,263
11月分	11/1~11/30	1,318	48,428	4,402
12月分	12/1~12/31	1,387	52,465	4,769
1月分	1/1~1/31	1,574	61,964	5,633
2月分	2/1~2/28	2,069	77,926	7,084
3月分	3/1~3/31	1,999	70,667	6,424
合 計		16,804	634,028	57,635

◆水道使用量並びに料金

日 付	項 目	口径 20m/m (管理事務所、屋外トイレ)				
		使用量	水道料金	内消費税	下水道料金	内消費税
		(㎡)	(円)	(円)	(円)	(円)
4月分	2/21~4/23	0	0	0	0	0
6月分	4/23~6/25	1	1,915	174	698	63
8月分	6/25~8/26	7	9,425	856	3,443	313
10月分	8/25~10/22	10	13,396	1,217	4,889	444
12月分	10/22~12/22	7	9,458	859	3,452	313
2月分	12/22~2/23	7	18,685	1,698	6,819	619
合 計		32	52,879	4,804	19,301	1,752

12. 指定管理者企画事業の収支状況
令和 6年度 指定管理者企画事業収支報告書

はばたきエコパーク・マネジメント共同事業体

提出者の名称及び職氏名

所長

		バードウォッチング関連のため中止					バードウォッチング関連中止					バードウォッチング関連中止			(単位円)
区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
収 入	前年度繰越額	-												0	
	ようこそはばたき公園（参加費）		23,100	2,100										25,200	
	バードウォッチング（参加費）		3,300	2,100			900		4,800	3,900	5,400	2,400		22,800	
	科学の目（参加費）		600	2,100		2,100		7,100	3,600	2,700	900	3,900	600	23,600	
	しげん生きもの養成講座（参加費）		1,500			4,200	1,200	2,700	300	5,700	1,200	3,300	600	20,700	
	夜空の星（参加費）					10,000								10,000	
	ライトトラップ（参加費）				25,000			10,000						35,000	
	夏休み特別企画（参加費）				29,300									29,300	
	アイランドシティ秋祭り&文化祭（ワークショップ）							2,100						2,100	
	トートバッグ販売								3,500		3,500	3,500		10,500	
	ステンドグラス作成（ワークショップ）										200		400	600	
	1周年イベント（参加費）												10,000	10,000	
	利息					366						2,407		2,773	
収入計	-	28,500	6,300	54,300	16,666	2,100	21,900	12,200	12,300	11,200	15,507	11,600	192,573		
支 出	ようこそはばたき公園（商品購入代など）		17,320											17,320	
	イベント保険			1,056	2,112	2,512	3,015	3,015	3,015	3,015	3,015	5,024	3,015	28,794	
	お茶（参加者用）			3,107										3,107	
	釣り銭両替手数料				200									200	
	イベント材料費				14,493	990	7,880	6,239			3,203		13,753	46,558	
	ディスプレイケース				3,085									3,085	
	書籍					38,500		10,340						48,840	
	星空観察会謝礼（5人）					25,000								25,000	
	チラシ印刷代						11,900	8,275	6,690		7,775	12,980		47,620	
	のぼり作成費							17,875						17,875	
	トートバッグ販売用仕入れ								42,000					42,000	
	チラシ印刷代手数料								195			270		465	
	ピンバッジ作成費								154,550					154,550	
	1周年イベント（商品購入）											72,005		72,005	
	販売用お菓子購入費												7,906	7,906	
	販売用シャボン玉購入費												2,295	2,295	
	イベント用（配布用等）300冊												25,900	25,900	
	イベント用氷												1,956	1,956	
	販売用飲料購入費												4,628	4,628	
	イベントバルーンアート（材料費、技術費）												10,000	10,000	
支出計	-	17,320	4,163	19,890	67,002	22,795	45,744	206,450	3,015	13,993	90,279	69,453	560,104		
月別残額		0	11180	2137	34410	-50336	-20695	-23844	-194290	9285	-2793	-74772	-57853	-367531	
収 支 残 額 計		0	11180	13317	47727	-2609	-23304	-47148	-241398	-232113	-234906	-309678	-367531	-367531	

13. 指定管理経費決算報告
令和 6年度 指定管理経費収支報告書

はばたきエコパーク・マネジメント共同事業体

提出者の名称及び職氏名

所長

		(単位:円)												
区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収入	指定管理料	6,280,000	4,400,000	4,400,000	3,500,000	3,500,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	2,800,000	2,800,000	42,680,000
	指定管理者企画事業		28,500	6,300	54,300	16,300	2,100	21,900	12,200	12,300	11,200	13,100	11,600	189,800
	受け取り利息					366						2,407		2,773
	収 入 計①	6,280,000	4,428,500	4,406,300	3,554,300	3,516,666	3,002,100	3,021,900	3,012,200	3,012,300	3,011,200	2,815,507	2,811,600	42,872,573
支出	人件費	1,333,000	1,333,000	1,333,000	1,333,000	1,333,000	1,333,000	1,333,000	1,333,000	1,333,000	1,333,000	1,333,000	1,333,000	15,996,000
	印刷消耗品	1,996,299	258,240	85,596	74,173	181,523	48,404	663,600	62,779	64,992	14,813	45,596	21,895	3,517,810
	通信費	3,960	16,609	18,951	16,233	5,578	28,585	16,126	15,902	16,039	16,348	16,234	16,199	186,764
	保険料		180,990											180,990
	資金(短期アルバイト)	81,089	295,267	195,352	357,722	356,575	330,082	349,221	399,652	296,180	194,880	323,130	348,960	3,528,110
	福利厚生	3,245	2,180	289	7,266	13,192	9,584	12,865	4,049	3,615	4,394	4,500	38,538	103,717
	広告宣伝費、ホームページ	568,965	500,500	86,485	77,000	86,840	410,280	82,458	80,280	77,000	80,280	80,280	247,458	2,377,826
	旅費交通費	300	100			1,300	700			3,300			3,900	9,600
	調査費	65,279	79,453	24,931	21,506	50,417	57,035	74,953	58,100				6,983	436,657
	事務用品	1,040,366	60,102	59,063	52,934	135,326	37,553	38,805	28,851	24,374	24,087	17,504	20,960	1,539,925
	経理事務、支払手数料	30,110	35,830	33,564	33,135	32,420	34,950	33,850	34,840	32,871	32,475	32,992	32,002	399,039
	租税公課	28,600	33,130	27,500	32,664	27,940	32,662	27,843	27,500	32,356	27,940	36,168	33,403	367,706
	租税公課	20,200												20,200
	リース料		46,200	23,100	64,460	43,780	80,740	62,260	62,260	62,260	62,260	62,260	62,260	631,840
	対り早処分費		420	1,680	700	420		5,600		560	280		1,120	10,780
	雑費			15,000				15,000			500			30,500
	法定福利費							20,597	20,590	20,070	19,548	20,070	20,183	121,058
	再委託費	476,831	790,630	581,656	469,700	699,920	602,690	469,700	469,700	654,170	695,324	1,019,700	552,200	7,482,221
	自社管理費	322,600	214,500	214,500	346,500	247,500	264,000	213,906	291,500	225,500	225,500	324,500	275,000	3,165,506
	修繕費													0
	光熱水費		22,690	37,452	46,415	53,554	92,642	54,602	52,148	43,104	60,585	67,833	72,112	603,137
	一般管理費	128,402	128,402	128,402	128,402	128,402	128,402	128,402	128,402	128,402	128,402	128,402	128,404	1,540,826
	指定管理者企画事業		17,320	4,163	19,890	67,002	22,795	45,744	206,450	3,015	13,993	90,279	69,453	560,104
	支 出 計 ②	6,099,246	4,015,563	2,870,684	3,081,700	3,464,689	3,514,104	3,648,532	3,274,003	3,020,808	2,934,609	3,602,448	3,284,030	42,810,416
月別残高		180,754	412,937	1,535,616	472,800	51,977	-512,004	-626,632	-261,803	-8,508	76,591	-786,941	-472,430	62,157
収支残高計		180,754	593,691	2,129,307	2,601,907	2,653,884	2,141,880	1,515,248	1,253,445	1,244,937	1,321,528	534,587	62,157	62,157

(単位:円)

アイランドシティはばたき公園 指定管理者実施報告（提案部分の達成度）

管理運営のテーマ

開発された都市に、渡り鳥が立ち寄る『さとの自然』を創出・保全し
～耳を澄まし、目を凝らし 生きものと対話する心を育む～

■ 利用者サービスの向上策

①サービス向上計画

・高齢者、障がい者、乳幼児などの社会弱者や、その他ニーズに応じたサービス向上の取り組み

結果 ○：達成、△：一部達成、×：未達成

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
①-1 利用者に合わせた自然学習・観察・共働プログラム の提供	◎みんなで関わる自然観察4つの体験システム ①「感じる」企画 ②「学ぶ」企画 ③「守る」企画 ④「参加する」企画 全ての市民が「みんなで関わる」ことが出来る様、4つの区分のしくみに応じた利用者プログラムを提供します。	①感じるプログラム：活動指標年6回実施 ②学ぶプログラム：活動指標年2回実施 ③参加するプログラム：活動指標年2回実施 ④守るプログラム：活動指標年1回実施	○	①「感じる」・・・科学の目「ウグイス」ウグイスの声、サポーター養成講座「水生昆虫調査」水生昆虫の発する音、「ライトトラップイベント」夜間のコオロギ類等の声 ②「学ぶ」・・・科学の目講座 ③「守る」・・・はばたきレンジャープロジェクトによる除草作業等 ④「参加する」・・・しぜん・いきもの調査員養成講座による調査データ収集 以上の内容をテーマを替えて毎月第三土曜日、日曜日に実施しました。
	◎利用者が訪問者（ビジター）から「サポーター」になれる「育成プログラム」 「学ぶ」「参加する」プログラム参加者でサポーター希望者は、スキルに応じて「バッジ」を獲得し、ステージに合わせた作業ボランティア/サポーターの参加が可能になります。	プログラム体系整備	○	育成プログラム参加回数に応じてスキルを判定。今年度は3名の「ジュニアサポーター」、2名の「初級サポーター」が誕生しました。3月にサポーター認定証授与式を行いました。
①-2 利用者が自然に寄り添う「自然成長を学ぶゾーン」	◎野鳥カメラの設置 ①野鳥カメラ（オンライン24時間遠隔操作可能）の設置 ②生きものカメラ（トレイルカメラ赤外線作動）の設置 ③湿地にモニタリングコンテンツ（調査動画）の情報発信 来園者、マスコミ用教育資料として提供（R6年度は主に情報収集を目的とする）	設置	○	ライブカメラを設置し、ホームページやYouTubeで誰でも観れる様にしました。他湿地帯内にトレイルカメラも設置し調査やデータ収集に役立てています。来園者の園内案内にも一役買っています。湿地内には「トレイル」カメラも設置し、生きもの発見に役立てています。
	エコツーリズム視点で指導 利用者の侵入・オーバーユース（過剰利用）によって環境のバランスが崩れないよう、立ち入り・観察利用については生態系を主役としたエコツーリズム支店で利用制限を設けます。 湿地エリア周辺の観察施設や緑地帯においても、利用については「エコツーリズム」の考え方を推進し、利用ルールを解説した「観察ガイドライン」を作成し啓蒙を行います。 ①利用エリアに適合したルールの作成 ②湿地観察前のガイダンスの実地、ルールの周知 ③利用レベルに対応した観察ガイドラインの作成とガイダンスの実施	ガイドラインの発行。事務所でガイダンスの実施	○	公園の利用ルールを作成し、告知し、違反者には説明を行いました。

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
①-3 利用者が自然に触れて「感じる」「自然を楽しむゾーン」	◎障がい者利用への支援 障がい者も将来的にサポーターとして活動できるような支援を行います。 ①オフロード車椅子の貸し出し ②観察ポイントにQRコードを掲示して音や映像でも案内 ③障がい者施設指導員向け自然観察教育プログラム」の提供 ④障がい者のバジメンパー向けサービス	週1回のバリアフリー点検障がい者施設指導員向け教育プログラムの提供	×	安全性確保の為、湿地内動線の不陸整備作業の必要性を確認、オフロード車椅子の貸し出しは見送りました。 障がい者施設との連携が未完の為、プログラムに提供が行えませんでした。 車椅子の無料貸し出し及び園路動線上のバリアフリー点検は実施。 (R6貸出し2回)
	◎はだして遊べる芝生 自然を感じるビジターステージとして、良く手の入った清潔な芝生を提供します。憩いや癒しに訪れる市民が肌や香りて自然を感じることは自然への第一歩であることを指定管理の経験で知っています。まずは、芝生の心地よさから自然を「感じて」いただきます。	R7年度より	—	R7年7月より供用開始予定
	◎芝生から連なるメドウ 湿地の方向へ行くと、様々な草や野に花が咲いた空間で生きものも住み、向こう側には樹林や林、田畑がメドウを創出します。虫も発見、人がいない時は鳥も訪れるかもしれませんが、ビジターはこのメドウで生きものを感じ、接し方を「学び」ます。	R7年度より	—	R7年度から（周辺工事の進捗による）
	◎体験湿地（水田など）	R7年度より	—	R7年度から（周辺工事の進捗による）
	◎鳴き虫、さえずりロード	R7年度より	—	R7年度から（周辺工事の進捗による）
	◎ホームページ機能の充実 ・新着情報をアップデートし、いきもの情報やイベント、公園からのお知らせ等の分けを行い、分かり易い情報の提供を行います。 ・季節のイベント情報を、写真とマップで紹介します。 ・ホームページのレイアウトをPC版とスマホ版の2パターン用意し、デバイス表示により視覚的に分かり易く、来園時でも直感的に操作し易いように配置します。	HP作成 年4回シーズンリニューアル 週1回更新	○	イベント情報、ライブカメラ映像放映（ホームページやYouTubeで視聴可）
	◎生きもの掲示板 園内の観察ポイントに「生きもの掲示板」を設置し、シーズンや生育・発生時期に合わせた情報提供を行います。 ・季節の生きもののポイント ・QRコードで生きものの鳴き声や開花の特徴を文字や画像、音声で解説	月次見直し更新	○	バードハイドに「飛来する鳥類」のオリジナル図鑑を季節毎に設置しました。野鳥の鳴き声もQRコード読み取りにより聴くことができるよう同図鑑の機能として表示しています。
①-4 学びの準備室コーナー	◎オペレーションロビーの開設 観察や学び、イベント参加前にガイダンスを受けたり、事前準備を行うリピーターを管理事務所の仮設会議室に設置します。 育成アウトルームはここでのトイレを必要とします。 ・観察の支度、エントリとフィードマシンの確認 ・生きものデモンストラーションの利用 ・ワイルド観察（トイカメラ） ・ロッカー（荷物預かり） ・観察装備品の貸し出し ・キッズライブラリー	7月までに開設	○	いきものミニ博物館として管理事務所の一面をフリー開放し、湿地内で見られるいきものの展示を行いました。また自由に閲覧できる各種昆虫図鑑など増殖しました。
	◎赤ちゃんの駅 授乳・更衣室で「赤ちゃんの駅」と「バウガールーム機能」のサービスを提供します。授乳中に授乳室からキッズライブラリーが見える「見守りカメラ」を設置します。	7月までに開設	○	認定完了（ベットなど完備）しました。入り口に「認定ステッカー」で表示しています。

②満足度把握・ニーズ把握。苦情処理計画

・利用者の満足度把握・ニーズ把握のための調査への取り組み

項目	実施手法	成果指標	結果	備考
②-1 利用者アンケート	◎利用者ニーズに対応した満足度調査の実施 調査実施方法は、 ①学生ボランティア等による聞き取り調査、 ②アンケート記入、 ③ネット等によるWeb調査を計画しています。 ・園内（芝生広場等）では小さなお子様連れのご家族や高齢者、障がい者の方に、来園目的や公園での過ごし方、ご要望に重きをおいた調査を行います。 ・園内での利用者アンケートを実施するか、Web・ホームページからご意見・ご要望の受付を行います。 ・イベント・行事アンケート 開催したイベント・行事の目的の有効性や来園者評価（満足度）を把握する事で客観的な目線での改善点を把握します。 調査はアンケート・聞き取りとともに5段階による満足～不満足度と自由コメントをいただき、集計します。	公園利用者アンケート年100枚の回収結果公開年2回	○	各イベント終了時にアンケートに記入して頂きました。（詳細結果はアンケート欄を参照）
	◎利用者団体アンケートの実施 利用団体会員の中で利用団体種別ごとの要望を記録し、公園に対する要望を集約、検討します。		△	各イベント終了時にアンケートに記入して頂きました。（詳細結果はアンケート欄を参照） 団体用様式による調査は未実施
②-2 インターネット・コミュニケーションボード	◎ホームページを通じて利用者の声、調査結果の公表 ホームページにてアンケート結果の公開を行います。 ・利用者から要望があったことについて対策などの情報を公開します。 ・利用にとって有益な情報を積極的に提供します	月次で情報更新 （情報によっては随時更新）	○	年間のアンケート集計結果をホームページに公開しました。
②-3 関連団体アンケート	◎関連団体アンケート（自治会、教育機関など） アイランドシティの教育機関・自治会、インターグの関連団体に公園管理事務所への要望や公園への期待についてアンケート調査を実施します。	年1回	○	アイランドシティ広報会議での聞き取り、各公民館、はばたき小、照葉小、照葉北小でニュースレター配布時に情報交換など行いました。
②-4 意見投函箱	◎管理事務所に意見箱を設置	1ヶ月毎回収	○	設置完了しました。利用はまだ少なく、来所時での聞き取りも併用しています。

・苦情などへの適切な取り組み

結果 ○：達成、△：一部達成、×：未達成

項目	実施手法	成果指標	結果	備考
②-5 苦情対応	◎弊社の「お客様対応基本方針」に則り対応する 利用者や近隣住民からの苦情や要望については、弊社のお客様対応基本方針に則り誠実に対応し、内容をよく吟味し、公園の利用満足度を向上させるヒントがある情報として大切に受け取らせていただきます。	四半期毎に報告書をまとめる	○	たらい回しなどせず、真摯に対応できました。（4の利用者アンケート・苦情を参照）
②-6 苦情の原因排除の取り組み	◎苦情対応を通じた業務改善によりサービスを向上します お客様からの苦情について真摯に取り組み、その発生原因を掴み、業務改善によって再発を防ぎます。	原則1ヶ月での業務改善	○	出来る限り迅速に対応しました。（4の利用者アンケート・苦情を参照）
②-7 フィードバックと対策	◎「フィードバックボード」及びホームページに苦情・要望の対応の公表 意見投函箱への苦情や要望に対する回答は、仮設事務所の「フィードバックボード」及びホームページにて公表します。	随時及び1ヶ月毎の更新	○	メールで返信希望の方には、遅滞なく返信し、要望の対応をHP上で開示しました。

③適正利用の促進と不適正利用の予防・事後対策

・利用者の適正利用に向けた取り組みについて

項目	実施手法	成果指標	結果	備考
③-1 適正利用の促進	◎「自然の成長を学ぶゾーン」 湿地エリアと周辺の観察施設や緑地帯においても、利用については「エコツーリズム」の考え方を推進し、利用（アクティビティ）ルールを作成し啓蒙を行います。 ①湿地観察の事前ガイダンスの実施 ②アクティビティルールの掲示 ③利用者レベルに応じたガイダンスと追加掲示 ◎「自然を楽しむゾーン」園内ルールの啓蒙 利用案内パンフレットに「利用者心得」項目を作成し、公平で安全な利用を呼びかけます。 ・安全な利用のための注意やお願いを記載します。 ・犬の散歩マナーや喫煙ルールなどのおお願い ・パンフレットは、仮設事務所で配布します。 ◎『望ましい利用』呼びかけパンフレット等を作成します。 ・障がい者、高齢者、小さなお子様について、障がい者差別解消法等を推進する「利用者相互の助労や手伝いへの配慮」のお願いを記載します。	アクティビティルールの策定（パンフレットない3編構成）	○	湿地帯、バードハイド、駐車場など園内の利用ルールを策定し、園内掲示板、パンフレット内、ホームページでも告知しました。
③-2 不適正利用の予防	◎地域と連携してマナーアップ運動を展開すると同時に日常的に園内巡回を行い、積極的な利用への声掛けにより不適正利用の防止を行います。 ・校区的子ども会育成連合会との連携した夏休み等見守りパトロールの指導（予定） ・利用者同士のマナーアップ運動と連携した予防活動禁止事項案内の実施	校区の子ども会育成連合会への報告を年2回	△	日常的な巡回による利用者への声掛けを実践し、予防活動を推進しました。 子ども会育成連合会との連携が未完。
③-3 不適正利用者への対応	◎不適正利用者には他利用者へ迷惑にならない様行為を中止する対応取る ・自治会や近隣の小中学校と情報連携を顕密に取ります、 ・警察と連携した対応を行います。	2人以上のスタッフでの対応 指導結果の注意（報告書への記載）	○	湿地帯への侵入、自転車のスピード出しすぎなど発見し注意をしました。その旨説明し、理解していただきました。
③-4適正利用の誘導と不適正利用の予防	◎利用のルールやマナーアップといった内容で掲示や印刷物の配布を行い、適正利用と不適正利用のガイドラインを示す	四半期毎に報告会を実施	○	湿地帯入口には立入禁止の掲示を行う等、適正利用への予防対策を実施しました。 また、毎月の職員研修内で報告を行い、職員全員で情報を共有しました。

■公園施設の適切・効果的な維持管理

⑤施設維持管理計画

・施設の内容に適した維持管理計画について

項目	実施手法	成果指標	結果	備考
⑤-1 建物・施設	◎2重点検による見落としがちなリスクの発見 ・スタッフが施設の日常巡回点検を行うことで危険個所の早期発見に努め、施設を安全で快適に保ちます	日常巡回2回/1日	○	園内、屋外トイレの点検も実施しました。一部のアスファルトに悪戯書き、花火の使用跡などが確認され、対処しました。
	◎アセットマネジメント（修繕履歴の作成と活用） ・日次巡回で発見された不具合・故障箇所は必ず報告し、修繕補修調書に記録します。 ・公園内の同様の不具合や故障がないか確認し事前に故障や事故を予防します。 ・公演の施設、設備のメンテナンスカルテとして作成し修繕補修調書を活かした長寿命化を図ります	修繕補修調書の作成	○	バードハートの「のぞき窓」屋外トイレの「個室扉」の不具合ありましたが、施設が新しい為、大きな修繕などはありませんでした。
⑤-2 機械・設備	◎施設稼働に応じたメンテナンス計画 ・公園の稼働状況を把握して施設利用者が増加する時期の前に各設備のメンテナンスを実施し、安定した管理を行います。 ・常にPDCAサイクルに沿った管理を行う事で、施設管理レベルを向上します。	年間計画に準じ実施	○	計画通りに実施しましたが、4月、5月は開園の準備に追われ、作業が後ろにずれ込んでしまいました。
⑤-3 植栽等	◎芝生広場のロボット芝刈り機の導入による芝生強化作戦 マット化の促進 一般的に芝生のマット化はデメリット（耐乾性、排水性の低下等）が多く抑制されるものとされています。しかし弊社ではマット化した芝生は剥がれにくく、踏圧による擦り切れへの抵抗性は高まるというメリットに着眼しました。適度なマット形成は芝生広場の様に常時多数の利用者によって踏圧を受け続ける芝生にとっては、裸地が防止に有効な特性になります。	年間計画に準じ実施	○	R7年4月より維持管理がスタートします。今後、市との協議のうえ、ロボット芝刈り機の導入等の仕様を確定させ、7年度の供用開始に向けて作業を行っていきます。
	◎光と広がりを感じられる美しい樹林 野鳥から人間の社会が目隠しとなる樹林は、湿地で休息する野鳥からの視点を意識した管理を行います。利用者視点で散策路に木漏れ日の光の広がりをとる場合には、園内の藁を活用したバードハイドを制作設置するなど野鳥の活動領域が狭まらないよう対策をします。		○	散策路沿いの樹木については樹木医による樹勢調査を行い、美しい樹林への基礎資料作りを行いました。湿地帯の野鳥ファーストの視点で管理を行い、園内の藁を活用した調査用バードハイドもボランティアの皆さんと作成しました。
	◎樹高を抑える低木更新剪定の実施 利用者エリアには花木低木が帯状に植栽されていますが、時を追うごとに樹高が高くなり、低木の奥に広がる樹林の眺めを阻害します。花の時期でこそ綺麗ですが、樹林地としての奥行きがなくなり、樹木本来の美しさである根元～幹～樹冠につながる全体のフォルムの力強さが隠れてしまいます。花芽分化後適期に思い切った更新剪定を行い、花付きを意識しながら低木から高木へ繋がる見通しの良い緑地を創生します。	樹木医による年1回の診断	○	3月に2名の樹木医で調査を行いました。樹勢をa～cの4段階で評価し、各樹木に対する今後の対処を記載した調査票を作成しています。

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
⑤-3 植栽等	◎季節の野草が美しい草地（メドウ）の誕生 築山、芝生広場との湿地など利用者との緩衝緑地として、刈込の高さと時期を変えることによって美しい野草が楽しめる草原に移行させる取り組みを行います。		○	芝生広場の工事が終了し、現在、施工範囲、使用種子などの選定をおこなっています。内容が決まり次第、事前に市と協議させて頂きたいと思います。
	◎IPM（病中総合防除）による管理 防草、防除については生物多様性の観点から環境負荷を低減した技術を用います。公園利用や従来生態系に影響を及ぼす高まるケースでは①物理的/耕種的、②生物的、③化学的防除の優先順位から検討します。化学的防除については必要最小限の除草剤の有効性の高い散布により、芝生地及び草地をコントロールします。薬剤散布にあたっては、環境負荷の低い有機JAS資材を優先し、環境評価と飛散防止を徹底します。利用の安全性が確保できるまでは、立ち入りを禁止します。防草、防除については、生物多様性の観点から環境負荷を低減した技術を用います。	モニタリングによるデーターの収集/アドバイザー会議での報告・助言による防除、防草計画の見直し	○	湿地帯の除草について、物理的防除の手取り、草刈機で行いました。科学的防除にあたる薬剤の使用は行いませんでした。草刈りは騒音による野鳥の影響をおさえるため「電動式」のものを用いて行いました。
	別紙参照（次ページ） 「湿地の順応的管理」湿地管理については「湿地順応管理計画」に則り行います。 ◎レベル1包括的目標：「人と自然との共生を象徴する空間づくりを実現する」 ◎レベル2およびレベル3（管理・モニタリング・レビュー） 令和6年度について、個別目標は「表7目標レベル・目標達成基準」をもとにネイチャーガイドが日次巡回でモニタリング、チェックし管理の実施時期や実施方法（ローテーションエリア等）を管理事務所と協議します。目標レベルに急激な変動があれば、管理計画の変更等を市（及びアドバイザー）と協議して実施します。 〈計画での主な管理項目〉 ①水質環境維持 ②底質環境改善 ③生態環境 ④植生（水域と水面領域） ⑤負荷低減（外来種、外敵、捕食者など） ⑥生物相の変化 ◎レベル3（順応的学習） レベル2～3のモニタリングデーターの集積と順応の実施レビュー結果有効性を検証し、次年度（令和7年度）のベンチマーク（目標レベル、目標達成基準）案を策定し、市とアドバイザー会議で協議します。フィードバック（成果の活用）については「はばたき管理」として管理技術の体系化とサポーター共業に生かします。〈侵略的外来種の防除〉 ◎モニタリング 日次巡回の記録データーと自然観察企画事業で生きもの調査の結果同行を月次集計し、増減変動の大きい生態系や新規出現生態系を検証します。侵略的外来種が確認された場合、発見地点やエリア、侵入経路の仮説と対策立案を行い、繁殖可能性と及ぼす影響を検討し、市に報告します。 ◎物理的防除および耕種的防除 侵略的外来種の繁殖が広がらないよう対象を除去します。外来除草は草刈り時期を開花・受粉・結実しないよう種別選択防除管理（刈り分け）や耕種等による攪乱を行い自然選別を促進します。 ◎生物的防除 侵略的外来種の在来天敵等が存在する場合、在来天敵の調査を行い、繁殖植物（在来）を刈り残し、天敵数の増加を試みて、生態系のバランスを図ります。 〈侵略的外来種の駆除〉 IPMによる物理的防除が困難で、著しく生態系及び周辺環境に緊急性の高い影響を及ぼす場合には、市（及びアドバイザー会議）と協議し限定的な化学防除方法を検討し実施します。	モニタリングによるデーターの集積/アドバイザー会議での報告・助言による防除防草計画の見直し	○	順応的管理計画に準じて作業を行いました。予察により湿地内の管理進捗を調整しネイチャーガイドによる会議の頻度も毎月の定例として開催し適正な管理を行いました。モニタリングについて、より専門的な調査につきましては専門機関に依頼、実施しました。

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
⑤-4 清掃・ゴミ搬出	◎ロボット芝刈り機導入による芝生刈りくずの削減自動芝刈り機導入による集草作業無しの刈りっ放しで年間対象エリアでは100%程度の残滓処分費が削減できます。 ◎園内残滓の堆肥化「はばたきコンポスト」 園内残滓はコンポスト（堆肥）化により園内景観に循環します。分解発酵については園内土壌の在来菌や土壌生物を用いることを計画し、開園2か年は園内の湿地汚泥や園内土壌、ミミズやワラジムシなどの土壌生物を観察教室でも調査し、「はばたきコンポスト」化技術を体系化します。	令和7年度以降	○	ロボット芝刈り機は現在仕様を協議中です。コンポストについては旧コンポスト跡近くに、さらに容量を増した規模にてボランティアの皆さんと設置しました。
⑤-5 衛生管理	◎自然観察、イベント時のファーストエイド・自然環境には様々な菌が存在します。小さなケガや転倒事故でも菌が体内に侵入しないようファーストエイド（早期応急処置）が出来る様衛生的な水や救急キットを準備します。	救急キット5セットを常備 健康チェックの推進と感染予防のボスターの作成	○	救急キット5セットの配置は完了しました。
	◎観察イベント、ボランティア作業前の体調管理 ・飲食のみならず口から食中毒菌やウィルスが入る可能性もあり、体力の低下や体調不良時はイベント参加は控えて頂きます。 ・イベント終了時には公園の衛生的な水（飲用水）で手洗い、汚れの洗い流し、傷等の確認を必須とします。 ・各出入り口に「消毒剤」（アルコールもしくは次亜塩素酸ナトリウム等）を設置することで、病原菌やウィルスの感染症予防に努めます。		○	サポーター養成講座の中で、虫刺され、捻挫、骨折時の応急処置、また危険な昆虫・植物の学習も行いました。
	◎衛生施設（トイレ、手洗い場）の完成予防 ・清掃時に衛生施設の利用者が手を触れる取っ手やノブなどを中心にアルコール（もしくは次亜塩素酸ナトリウム等）除菌を定期的の実施します。 ・施設内の洋式便座の排便後は便座のふたを閉めて洗浄水を流していただき、菌やウィルスの拡散を防止します。		○	事務所に「手洗い用消毒液」を常設しました。
	◎鳥インフルエンザ対策 ・野鳥の死骸等については、触らずに管理事務所へ報告頂くよう園内周知し、福岡県の対応手順に則った対応マニュアルにそって回収し、筑紫保健福祉環境局事務所 地域環境課に連絡、市との協議の上で対応・処分を行います。		○	該当事例は有りませんでした。

⑥リスク管理計画

・安全管理計画・緊急対応（災害・事故等）計画・保安警備計画

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
⑥-1 総合的なリスクマネジメント体制	◎私たちは指定管理業務が通常の「維持管理」とは異なり利用者サービスを伴う「接客業」とであるという観点から、工事故等の原因ハザードのみならず、予想できないイレギュラーな出来事を想定した会議を年4回程度実施します。会議にはISOの専門家を加えて、国際基準に準じたハザード分析、リスク評価をおこなっています。以下の様な実績があります。 ・利用者事故の防止のチェックリストの作成（木製遊具、老朽化施設設備アセスメント） ・地域防災と連携した大規模災害訓練（DIGの実施）・インフルエンザや食中毒、未知の感染症に対する基礎知識と管理業務のポイント ・事業継続プラン（BCP）の作成	年4回のリスク分析会議の実施	○	大きな事件・事故などは発生しませんでした。職員研修内で、園内の危険箇所、利用者の利用状態など実例を挙げて情報を共有しました。
⑥-2 施設の安全管理	◎利用者に危害を加える害虫害獣対策 園内に侵入する有害獣、有害虫をハザードマップにより管理し、発生には適切に対処できるように訓練を行います。 ・ハチ類（オオスズメバチ、キイロスズメバチ、ツマアカスズメバチ） ハチ類の中でもこれらのスズメバチは被害が甚大で、時には人命にかかわるようなアナフィラキシーショックを被る事さえあります。特に、危険度が高まる夏から秋にかけての繁殖期には園内各所にトラップを設置し、状況に応じてインフォメーションを強化するとともに、立ち入り禁止措置や場所に応じては巣の撤去を協議します。 ・マダニ類 マダニは公園内にも生息しています。人やペットに付着し、吸血、炎症を起こすことはもちろん、感染症を媒介することで死に至ることも報告されています。公園内で特に注意すべき場所は、雑草が繁茂し藪化しているところ、野生動物や散歩中の犬などが立ち寄りやすい茂みなどです。弊社では厚生労働省等が発表している注意喚起資料を利用して来園者に情報提供を行い注意を促します。 ◎危険な外来昆虫の防除 セアカゴケグモ 園内の各施設に周知のポスターの掲示を行い利用者への啓発を行うとともに、発見に応じて適宜苦情活動を行います。 ◎救マークの認定 「救マーク」施設認定に関して認定要件を満たす様にします。自動体外式除細動器（AED）はステータスインジケータを毎日確認しバッテリー切れ等がないようにします。	実施可能な範囲は適宜対応	○	春～秋にかけてはハチ類やセアカゴケグモを確認しました。日々の巡回時の確認に加えて月2回はセアカゴケグモの調査を行い、発見次第駆除を行いました。当公園では、駐車場の機器内部、屋外トイレ周辺、側溝で確認されました。「救マーク」は所長、副所長が「上級救命」の講習を受講し、「救マーク」の認定を受けました。
⑥-3 施設の保安管理	◎日常巡回 毎日3回（昼間2回）、夜間1回（警備会社）の職員による巡回を行います。利用者への挨拶、不正利用者への声掛けなど積極的に行います。 ◎イベント時での保安 多数参加の見込めるイベントではJV各社から応援人員を派遣し、駐車場整理、園内の保安に努めます。 ◎警備会社との連携 警備会社による夜間1回の巡回に併せて機械警備を行います。有事の際には直ちに現場に駆け付ける体制を取ります。 ◎駐車場 24時間の有料駐車場となります。夜間の不審者の湿地帯進入を防ぐため、湿地エリアへの立ち入り等については利用時間による制限を設けます。 ◎防犯マニュアルの作成 ・防犯対応全般を記したマニュアルを作製します。 ・そのマニュアルを基に職員研修で職員一同が共通認識をもって対応します。	毎日3回（昼間2回、夜間1回）	○	左記の通り、実施しました。緊急事態などの発生は有りませんでした。

項目	実施手法	成果指標	結果	備 考
⑥-4 個人情報計画	◎福岡市個人情報保護条例に則った取扱い 原則として、指定管理者業務において取得する個人情報については条例に則り、必要な場合に限り、かつ、その利用の目的を特定して収集するものとします。利用については事前に本人に明示し、承諾を得たうえで、その範囲を超えない様にし、個人の特定が出来ないようにします。 ◎指定管理者企画事業/自主事業 SNSやWebアンケートなど様々なシーンで該当する個人情報について、法令・条例及び個人情報保護委員会のガイドラインに沿った管理を行います。	法令・条例改正時の計画の見直し、コンプライアンス研修での全スタッフへの定期的な周知	○	個人情報保護に関しては、法令、条例に則って管理しました。イベントなどの名簿、職員の名簿などは施設できる引き出しで保管をしています。
⑥-5 緊急対応	◎人身事故発生時対応 事故発生時の通報を受け、直ちに現場に急行し、負傷者の保護・救護ならびに応急手当、病院への搬送・救急車の要請など、適切な措置をとります。また負傷者の家族、保護者への連絡を必要に応じて適切に誠意をもって行います。	通報を受けて5分以内に現場急行	○	該当事例は発生しませんでした。
	◎自然災害発生時対応 はばたき公園は校区の「避難場所」に指定されており、災害時には救援活動の拠点として機能するなど、区の防災計画に重要な役割があることを認識しております。風水害や火災および震災に関して利用者の安全を考え、緊急時に的確な対応が出来るよう緊急時に備えます。	発生後即時指示系統のに移行	○	台風などの発生は有りましたが、避難指示などの発令は無く、又、被害なども有りませんでした。

■公園の特色を活かす事業展開

⑦公園の特色を活かす取り組み（集客向上策・広報計画）

・公園施設の集客向上策、広報計画等

項目	実施手法	目標人数/年	結果	備 考
TVやラジオを通じた生きものの情報の発信	◎テレビ局へのリアル情報発信 テレビ局や制作会社に公園内の生きものの情報（公園モニターカメラ映像）を提供し、地方局の短い季節ネタを通じた公園広報情報を発信します。	NHK、福岡放送局及び制作会社に提供	○	ネイチャーガイドがTNC放送の「記者のチカラ」に出演、公園の魅力発信を行った他、ラジオ（FM福岡）での当公園のPR、イベント情報発信は3回実施しました。
はばたき公園広報誌の刊行	◎定期刊行誌の発行 公園愛の野鳥や生きものの情報をまとめた刊行誌を発行します。 ・季刊発行誌 ・年次発行誌	季刊は年4回 年次は年1回	○	季刊誌は「ニュースレター」として年6回発行し、近隣の3つの小学校にも配布しました。又、年次発行誌は年度末に「活動報告書」として「サポーター養成講座」の中で参加者の方に報告しました。
リアルタイム情報提供（Web、HP）	◎SNSを使用した公園の情報提供 「はばたきだより」として園内での出来事やイベント情報等、旬な話題をSNS（フェイスブック等）を通じて提供します。 写真やマップで見どころの場所や時期を紹介し、利用者のSNS投稿の促進につなげる事で公園の紹介と同時に来園の促進につなげます。	一週間毎の更新	○	インスタグラムを利用して野鳥の飛来状況、樹木の開花情報、イベント開催情報など一週間以内に更新を行い、発信しました。
	◎公式アカウント登録による情報提供 SNS公式アカウントの開設による公園情報会員メンバーへのメッセージ送信を行います。		○	同上
	◎仮設事務所にデジタルサイネージを設置します。 デジタルサイネージは仮設事務所から情報コンテンツ配信を行うことでリアルタイムな情報更新が行えます。 以下の公園利用に関する情報を表示し、来園される皆様へ、より新鮮な情報提供を行います。 ・野鳥、その他生きものの生息情報 ・開催予定のイベント情報 ・四季折々の植栽情報 ・利用における各種注意喚起情報等		○	デジタルサイネージより多機能であり、環境学習等にも活用できる電子黒板を用い、園内の各情報、野鳥の飛来情報をリアルタイムで紹介しています。他、ホワイトボードにて確認された野鳥の情報、イベント情報などを掲示し、来園者への情報提供を行っています。
市政だよりを通じた広報	◎各種イベントに関しては、市政だよりにて募集記事の掲載を行います。 あらゆる世代に広く読まれている市政だよりに掲載を依頼する事で、より多くの方へ募集の案内をお届けできると考えます。	年5回の掲載	○	毎月、イベント情報を掲載していただきました。
公園広告用オリジナルグッズ	◎グッズの有償提供 自然と生きものに関連するモノづくり教室の完成品を、公園名を記載したグッズとして希望者に有償提供します。	ものづくり教室で制作数種類提供	○	野鳥をデザインした「トートバッグ」（5種類）、バードコール（使用注意文書入り）、ピンバッチを希望者に有償提供しています。
	◎公園名入り花の種配布 利用者アンケートへのご協力をいただいた方や各種イベントに参加された方を対象として公園広告（HPアドレス等）記載した花の種を配布します。	年間100袋の配布	○	開園1周年イベント時に実施しました。 （ひまわり、ヘリクリサム、百日草の3種類を用意しました。）

⑧魅力的な指定管理者企画事業

・公園施設の集客向上策

項目	実施手法	時期	回数	備 考
生きもの観察 ビギナーコース	①生きもの探しウォーキングマイレージ 希少性の高い生きものを探すと高いポイントが獲得できる 企画です。ウォーキング中に観察データ収集に協力する ことになります。	毎月	随時	実施しました。 「福岡市×パイオーム」を活用して行いま した。各イベント内で紹介をし、参加者か らの観察データなどの情報提供を期待し ます。
	②生きものの声を聴く 利用者と集音器を使って虫や鳥の声を観察します。	5・10月	年2回	実施しました。 サポーター養成講座の参加者から機材をお 借りして水生昆虫の出す音を参加者と一緒 に体験しました。
	③土のお掃除屋さんを探せ 土づくりに欠かせないミミズ、ダンゴムシなどの土壌生物 を探し、その役割を学びます。コンプストの体験教室と連 携します。	10月	年1回	夏休みイベント時にダンゴムシ、ワラジム シに着目して分解者の役割について学んで いきました。
	④セカンドライフの生きもの観察 定年などで人生の転機を迎えて、セカンドライフを自然と ともに送ろうと考える方のためのボランティア育成プログ ラム	10月	3講座毎 に各1回	実施しました。 今回は、「よもぎ」を使って日本でぬぐい に「草木染」を行いました。
	⑤押し花定規をつくろう 季節の花を観察し、お気に入りの花で押し花定規を作成し ます。	4月	年1回	オープニングイベント時に実施しました。 押し花は園内に自生する植物を使用しまし た。
	⑥蟬取り セミを捕まえ、抜け殻を集めてどんなセミが生息している かを観測します、	7、8月	随時	当公園はセミの侵入が確認されなかったた め、周辺の防風林や街路樹を探して蟬取り を行いました。
	⑦障がい者向けの自然観察教室 1) 生きものの声や音を聞く 2) 生きものの香り口座 3) 鳴き声口座	5月	R7年より 年1回	開催に向けて準備をします。
生きもの観察 会 ボランティア 育成コース	◎プロ指導！はばたきバードウォッチング 野生生物アナリストによるバードウォッチング指導を行いま す。野鳥に関するあらゆる情報について知識を習得して いただきます。 1) 入門コース 2) 初級コース 3) 中級コース	毎月（7、8月を 除く）	年10回	実施しました。 参加者の多くは「入門」「初級」です。今 後は「中級」以上での参加者が増えるよう な企画を考えます。
	◎湿地帯クルーズ インストラクターと一緒に湿地帯を歩きながら湿地の生き ものの観察と管理を体験していただきます。	奇数月	年6回	実施しました。 野鳥に配慮しながら、湿地内の生物をス タッフと一緒に解説を交えながら観察し、 理解を深めました。
	◎自然調査員体験 一般利用者にモニタリングキットを渡し、それらデータを 蓄積し、大学研究室などの提供をする	通年	随時	実施しました。 西日本短期大学、ECO海洋動物専門学 校、北九州市ほたる館の学生と一緒に、園 内の水生昆虫など生物調査を行い、情報交 換を行いました。
	◎コンポストによる廃棄物の循環 園内残滓をコンポスト化して、エリアの在来菌や微生物を 学びながら循環型の環境保全を学びます。	12月	年1回	実施しました。 従来のコンポストは工事の関係で撤去と なったため、新たに「ボランティア」の皆 さんと作成し、刈り草などを入れて、期待 する効果など学習しました。
	◎夜の昆虫観察キャンプ ライトアップで光に集まる昆虫の観察会を行います。	7、8月	年2回	実施しました。夜のイベントは人気があ り、毎回多くの参加者で賑わいます。

項目	実施手法	成果指標	回数	備 考
観察キットの貸し出し・販売	観察キットの貸し出しを行います。 ・虫キット（網、虫見板、シャーシ、顕微鏡、画パン） ・鳥キット（双眼鏡、カウンター、收音器、ハンドブック）	通年	随時	実施しました。 双眼鏡、虫網、魚網、顕微鏡、貸出を行っています。
はばたき公園出張授業	近隣の学校へ当公園で行う自然教室を通常事業（生活科・理科・総合的学習の時間）を開催します。 出張授業は、学習指導要領に則ったプログラムを基本的にはばたき公園プログラムも可能です。	通年	-	実施しました。 はばたき小学校の2年生（120人）対象に来園いただき、園内で環境学習を行いました。
高校・大学向けのプログラム提供	高校の授業や大学のゼミ、クラブやサークル向けのプログラムを提供します。 ・ビオトープ管理士試験を想定した管理実習講座 ・モニタリングや管理作業体験インターシップ ・研究データーの提供や公園内での収集支援	通年	-	実施しました。 西日本短期大学の学生、当公園職員向けに「ビオトープ」管理試験に向けた勉強会を行いました。 受講者1名が3級ビオトープ管理士に合格しました。
学びの教育・展示（移動博物館も可能）	生きものの展示にミニ講座開設を添えたミュージアムを開設します。担い手を育てる、講座を通してマニアックな人を育てる、講座を通して現場で生きものを見ることが出来る人を育てる、講座を通してファンを育てる、周辺の教育機関と連携 ミニ博物館（展示例） ○芽吹き草の花 ○夏の昆虫 ○種子や木の実（むかし在来） ○冬の渡り鳥（足跡教室）	通年	-	実施しました。園内の水生昆虫等の生体や葉など、自然資料を収集して来園者に園内の生物について学びや発見のある展示を随時追加しています。 まだ展示物の種類は少ないですが、今後、展示方法、展示物を充実させていきます。
「科学の目」養成講座	湿地にいる生きもの「ヒバリ」「ヨシキリ」「イトトンボ」「ゲンゴロウ」など特定の生きものを題材に生態や生活史を分かり易く解説し、実験・体験を交えることでその生きものを深掘して頂き、理解を深めていただきます。	毎月	年12回	実施しました。 毎回「テーマ」を替えて、主に事務所内での学習後、実際の生物を見て観察し、理解を深める講座を行いました。
「はばたきレンジャー」プロジェクト	「生きもの」に優しい公園・場所づくりを参加者とともに目指すことを目的として「レンジャープロジェクト」を立ち上げます。レンジャーは外来種駆除、池の泥上げ、草刈、いきもの調査などを担当していただき、各年齢層（ジュニア、ミドル、シニア）に応じたミッションを遂行していきます。	毎月	年12回	月によって対象年齢層を変えて年齢層に応じた調査や管理作業を行っています。
バードハイド作り	園内の葦を利用したバードハートの観察基地の作り方を体験します。	11月	年1回	実施しました。 園内の葦を利用して「調査用」のバードハイドを「ボランティア」の方々と作成しました。
湿地清掃ボランティア	湿地帯の清掃、外来種の駆除、事前に外来種が及ぼす影響について考え学び、参加者で清掃、外来種の除去等を行います。その際、ゲーム感覚で楽しめる様に、工夫を凝らします。	通年	年12回	夏季にイベントとして「ナルトサワギク」「コウキヤガラ」の除草を参加者と実施しました

■運営体制と人材の確保

⑨組織体制・シフト体制 その他運営管理計画 管理を遂行するに当たっての体制

※以下の通りです。

役職	担当業務	氏名	雇用形態	備考
所長	公園統括責任者	[Redacted]	常勤	
副所長	施設・運営・コンプライアンス業務		常勤	
ネーチャーガイドマネジャー①	利用者窓口、環境保全、野生生物観察、調査、順応的管理モニタリング		非常勤	
ネーチャーガイド②	利用者窓口、環境保全、野生生物観察、調査、順応的管理モニタリング		非常勤	
ネーチャーガイド③	利用者窓口、環境保全、野生生物観察、調査、順応的管理モニタリング		常勤	
野生動物アナリスト	野生動物湿地環境データ分析、順応的管理モニタリング		非常勤	
マルチスタッフ	園内管理、データ整理、イベント関係		常勤	
マルチスタッフ	園内管理、データ整理、イベント関係		非常勤	
マルチスタッフ	園内管理、データ整理、イベント関係		非常勤	
マルチスタッフ	園内管理、データ整理、イベント関係		非常勤	

※委託業務（以下の通りです）

業務内容	委託会社	委託内容
夜間警備（警備巡回）（機械警備）	第一警備保障（株）	夜間巡回×1回、夜間は機械警備
有料駐車場保守点検	アマンマネジメントサービス（株）	3回/年
鳥類調査、水生昆虫同定	大宰府ワイルドライフリサーチ	鳥類調査、水生昆虫同定作業
水質、底質調査	㈱エンジェック	水質、底質調査 3回/年
植物調査	Dip植物調査	植物調査、植生図作成 2回/年
昆虫調査	共生科学	水生昆虫調査、同定 4回/年

⑩専門的人材の確保及び研修

・配置する予定職員は公園管理に必要な専門性・資格や経験

※以下の通りです

役職	担当業務内容	氏名	能力、資格、実務経験年数
所長	公園管理責任者	[Redacted]	[Redacted]
副所長	公園会計、収納事務責任者、公園経営管理		
ネーチャーガイドマネジャー①	利用者サービス（窓口）自然観察企画運営指導、調査、分析		
ネーチャーガイド②	利用者窓口、環境保全、野生生物観察、調査、順応的管理モニタリング		
ネーチャーガイド③	利用者窓口、環境保全、野生生物観察、調査、順応的管理モニタリング		
野生動物アナリスト	野生動物湿地環境データ分析、順応的管理モニタリング		

・職員育成に必要な研修

項目	実施手法	成果指標	備考
接客研修	挨拶・態度・お辞儀・身だしなみなど基本的なことから好感を与える話し方、聞き方クレーン対応方法を学びます。	年1回	管理者による実演を参考に都度、実習形式にて研修を実施しました。youtubeの視聴を交える等でスキルアップを図っています。
コンプライアンス研修	福岡市市民局作成の「不当要求防止対策マニュアル」を用いた反社会勢力への対応研修を実施します。	年1回	実施しました。「公園の平等利用」「障がい者差別」「パワーハラスメント」をテーマとして研修をしました。
収納事務講習会	収納金取扱対象者に対する収納事務講習会を実施します。「福岡市歳入の徴収又は収納事務の委託の手引き」を元に会計事務全般の講習会を実施し、正確な公金管理を実施します。	年1回	実施しました。「不正防止対策」「事務処理チェック」をテーマとした研修を受講し、関係職員向けにフィードバックしました。
病気やけがの知識と応急処置と感染症対策講習	熱中症、捻挫、骨折、打ち身などの応急処置方法とAEDの正しい取扱い及び新型コロナ対策を含め感染症全般に関するスタッフの知識取得や利用者への注意喚起を行う事項等の共有を図り安全な運営に役立てます。	年1回	実施しました。「サポータ養成講座」の中で一般参加者と学びました。
障がい者サポート	所長、副所長が障がい者施設でのサポート実習を行い、他スタッフに実習体験で得たものを研修します。	年1回	実施しました。車いすを用いて実際に園内を巡り、スロープを体験する等の実習形式にて行いました。
救急救命講習	管理事務所職員は福岡市消防局の行う上級救命講習を、公園内作業責任者は普通救命講習Ⅱの受講を受けることにします。	年1回	実施しました。「救マーク」の認定を受けました。簡易的な機器を用いた肋骨圧迫実習を行いました。
労働安全衛生講習	所長、副所長は福岡産業保健推進センターの労働衛生管理研修会を受講します。各維持管理責任者は職員・安全衛生責任者教育を受講します。	年1回	実施しました。メンタルヘルスについて副所長が「研修会」に参加し、一般職員向けにフィードバックしました。
維持管理業務研修	委託会社の清掃業務指導員によって、利用者視点での清掃における清潔の基準を学ぶ研修を実施します。	年1回	実施しました。専門員による指導受講経験のある副所長より職員向けに実習を行いました。
人権学習	あらゆる人が平等に利用できる公園を目指し、さらに職員全員が偏見を持たない人材を育成します。	年1回	実施しました。副所長、職員1名が講習会に参加し、職員にフィードバックを行いました。
環境への配慮	公園活動の中で我々ができるエコ活動を学びます	年1回	実施しました。「サポータ養成講座」の中で一般参加者と方と学びました。
（湿地）野生生物技術研修講習会	園内の対象となる湿地及び野生生物についての知識と管理技術を身に蓄けます。	年1回	実施しました。当公園の「ネイチャーガイドマネージャー」を講師として職員で学びました。
はばたき公園の現状と未来	当グループの専門家により順応的管理の現状とフィードバック検証の状況を学習します。現状と未来についての方向性仮説について勉強会を開催します。自主作成の資料による研修として各種データーを元に現状の把握と、あるべき未来への課題を検討していきます。	年1回	実施しました。当公園の「ネイチャーガイドマネージャー」を講師として、集めたデーターを確認しながら行いました。

⑪地域との連携

・公園の管理運営における地域との連携について 具体的な取り組みと実施手法

項目	取り組みの対象	実施手法	成果の目標または指標	結果
住民とのリスクコミュニケーション	公園隣接区域の住民	近隣住民の生活エリアへの「生きもの」の侵入は理解の程度の差は有れ「不快」「有害」の影響を与えます。リスクコミュニケーションにより、住民の生活環境における不快や問題発生の低減や解決リスクに取り組めます。 ①生きもの情報・環境情報の発信 ②住民からの情報収集 ③有識者や研究者と連携した問題解決対策の立案と計画 ④定期的な生活環境モニタリングの実施	年1回(7月予定) 所長による住民への調査を実施 ①住民にとっての危害要因の分析とリスク評価 ②住民からの苦情や要望の分析 ③住民への情報発信 ④住民とのコミュニケーション記録の作成を行う。尚、自治協議会や出張事業案内等の訪問を活用して情報収集を行う。	実施しました。 照葉、照葉北公民館に出向き、聞き取りを行いました。
エコパークゾーン	水域利用ルール遵守及び利用者啓蒙活動	エコパークゾーン関連団体との連携(海と隣接エリアとの関係ができた時点から)	海と隣接エリアとの関係ができた時点から	—
	照葉校区自治協議会 照葉北校区自治協議会	各校区区長を訪問し、コミュニケーションを図る。必要に応じて総会に出席し地域住民からの苦情・要望を伺う。	所長による自治協議会へ訪問	実施しました。 照葉、照葉北公民館に出向き、聞き取りを行いました。
	照葉小 照葉北小 はばたき小 照葉中	自然学習の場の提供(出張授業等)、講師派遣、環境わくわく出前授業やエコアドバイザーなどの制度を利用して生活や理科、社会、総合的学習の時間など、既存の授業の中で学習指導要領に沿ったより深い自然・生きものこと(はばたき公園の目指すこと)に触れる授業を行います。継続性が見込まれる場合には、事業内で予算を確保し、回数を増やして授業を行う事も検討します。	ネイチャーガイドによる学校訪問	実施しました。 はばたき小2年生(120人)の環境学習を行いました。
はばたきカフェの開催	UDCICとの連携	UDCICの活動に協力して公・民・学連携のまちづくりに「はばたき公園」を中心とした環境保全野生生物保護の観点から取り組みに参加します	UDCICの活動に協力	実施しました。 今回はUDCIC主催の「スタンブラリー」、「IC文化祭」に参加させて頂きました。
高等教育機関連携	西日本短期大学、他	資格取得のため環境教育への協力やインターシップの受け入れなど	ネイチャーガイドによる学校訪問	実施しました。 当公園の「ネイチャーガイドマネジャー」が出向き、講義を行い、又、当公園を使って実地授業も行いました。

■施設の管理運営に要する経費

⑬指定管理経費の節減（効率的な配分）

- ・施設管理に要する経費の削減の具体的な項目、実施手法

項目	実施手法	結果
上下水道	グリーンインフラの観点からは、市との協議のうえで雨水を貯留し（仮設管理事務所の雨どい、バードハイドの屋根からを予定）漏水等に利用し、上水の使用を大幅に削減します。他、衛生管理に影響がない範囲で園内の水飲み場、トイレなど節水の掲示を行い啓蒙します。	未実施
維持管理費（湿地）	湿地エリアは専門職員が順応的管理におけるモニタリング状況により、計画仮説にもとづく作業指示を両社の最適な専門職人や短期雇用職員とともに行います。外注費を極力抑えることで、経費削減を行うと同時に生態系システムに最適な環境を整えるよう順応的管理計画に基づき行います。	実施しました。 三浦造園、九州グラウンドの技術者で作業を行いました。又、一般職員も「自然環境」に関心した学生を採用しており、基本的な知識を有しています。
人件費	管理事務所はマルチスタッフとして、窓口業務、管理事務、企画事業運営、園内作業とすべての業務を行い、各社直営スタッフと力を合わせて、コンプライアンスを遵守したうえで適正な人員で運営します。	実施しました。 左記の業務は円滑に遂行出来ました。

■社会的貢献とコンプライアンス

⑭社会的貢献

- ・地域貢献に関する具体的な計画

項目	実施手法	成果指標	結果
小学校での出張事業	近隣小学校での総合学習や環境プログラム向けの出張授業を行います。	年2回	実施しました。 はばたき小や西日本短期大学、ECO海洋動物専門学校が来所し学習しました。
緑化技術アドバイス	市民や特に地域住民を対象に緑化教室やフラワーデザイン、栽培講習会などの技術アドバイスをします。管理事務所です受け付けを行い、技術アドバイザーを通じて専門的なアドバイスも行います。	毎月質問回答を取りまとめ掲示板へ	質問はありませんでした。
和台海岸線の清掃活動	はばたき公園に隣接する海岸線の清掃活動を行います。自治会にもお声掛けします。必要な機械類、用具、運搬車両は当方で持ち込みます。	月2回	実施しました。 毎月2回（1日、15日）にボランティアを募り、行いました。
はばたき公園周辺道路の清掃活動	はばたき公園に隣接する海岸線の清掃活動を行います。自治会にもお声掛けします。必要な機械類、用具、運搬車両は当方で持ち込みます。	月1回	実施しました。 毎月2回（1日、15日）にボランティアを募り、行いました。

- ・地域コミュニティの向上のための取り組み

項目	実施手法	成果指標	結果
地域イベントへの協力	地域自治会の要望により、芝生広場、展望広場を子供向けの祭り等として協賛します。野生動物を考慮し、音響を用いるものはしません。	ニーズのヒアリング	実施しました。 今回は、「IC文化祭&秋祭り」、「UDCICスタンプラリー」に参加をさせていただきました。
観賞木の見ごろの案内	植栽計画では、さくら、梅などの観賞木の植栽が計画されています。地域の皆さんに花の見ごろなど案内します。	ホームページで毎日情報公開	実施しました。 ホームページ、Instagramでも情報案内をしました。
地域へ花や花苗の配布	地域花壇の常設と季節ごとの花苗の植え替え及び管理技術補助を行います。定期的に花の種を配布する等、植栽を通じてコミュニケーションを図り、コミュニティを築いていきます。	花苗の植え替え、管理補助	実施しました。 園内の花植えの入れ替え、イベントで花の種の無料配布を行いました。

⑨コンプライアンス等

・ブライバシーポリシー・コンプライアンス規定について以下に○印を付けてください

項目		結果
ブライバシーポリシー	定めている 定めていない	ホームページへの掲載
コンプライアンス規定	定めている 定めていない	コンプライアンス研修の実施

・障がい者雇用率と今後の雇用計画

障害雇用率	0%
今後の障がい者等の雇用計画	適性を検討して採用したい

・その他関係法令に留意した取り組み

項目	実施手法	成果指標	結果
男女雇用均等法に関するワークライフバランスの取り組み	「い〜な」ふくおか・子ども通園への賛同登録 定時退社を促すとともに「イクメン」を支援 子どもの職場見学を通じて社員の仕事と家族のつながりを知る	毎月月初に経営者が社員にイクメンの声掛け	親会社も「イクメン」に限らず「コンプライアンス」を重視しており、「残業なし」「産休」「育休」など取得しやすい環境づくりを行っています。
暴力団対策活動への協力	「裏排三ない運動」に賛同し、警察や暴治センターと連携し、福岡市暴力団排除条例に基づく「暴力団対策法27の禁止行為」を守り実行します	法令違反「0」	該当事案は有りませんでした。
人に優しく安全で快適な福岡をつくる条例	優しい街づくりに向けた社員啓発を行います。歩きタバコや指定場所以外での喫煙禁止、散乱するゴミの自主的な清掃を行います	毎月月初に経営者が社員に直接声掛け	当公園では月2回の園外での清掃活動、親会社でも毎週水曜日に周辺道路の清掃を行っています。
エコアクション21	「6つの目標」（二酸化炭素の排出量の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減（節水）、グリーン製品購入の推進、化学物質の適正管理、事業活動における環境配慮（校庭緑化の技術提供）を）あげて取り組んでいます。	6つの目標を達成	親会社で「エコアクション21」に参加し、会社を挙げて取り組んでいます。

⑩環境への配慮

・環境への配慮の取り組みに関する具体的な計画

項目	実施手法	成果指標	結果
渡り鳥が利用する場	◎シギ・チドリ類や干潟を利用する希少種の休息場機能の創出 ①湿地のシギ・チドリ類の休息場所を想定した順応的管理による管理 ②シギ・チドリ類に対する脅威の排除 ③湿地（水場）の確保	①5つの湿地の保全（順応的管理の検証） ②人為的攪乱の防止（野鳥カメラ映像の解析） ③「体験湿地による水場の補完（田んぼダム）の雨水活用」	①は「順応的管理計画」に準じて活動しています。 ②は人為的介入は最小限に抑え、ライブカメラでの映像を分析して、今後の活動に役立てるため、情報収集を行っています。 ③はR7年度着手予定です。
環境学習の拠点	◎エコパークゾーンの取り組みなどを学び体験できる環境学習の拠点 ①ビジターとして気軽に参加できる企画事業の実施 ②サポーターとして環境の取り組みに参加するための学習企画事業	①築山・芝生広場で実施するビギナーコース：7コース11講座 ②湿地エリアで実施するボランティア養成コース：5コース	①は今後の供用開始を確認して行います。 ②は現在、「サポーター養成講座」を中心に我々と一緒に学んでいただいています。
様々な活動連携	◎企業や教育機関、環境保全に取り組むNPOなどとの連携 ①サポーター企業の募集 ②出張授業やインターシップ・フィールドワーク連携 ③企画事業での連携イベント	①企画事業への支援企業（年3件） ②出張授業（2校） ③近隣エリアの干潟等についての移動博物館の実施（2エリア団体）	①は「サポーター企業」を募るため、我々の「事業内容」「データ集積」などを行っています。賛同できる企業を見つけたいと思っています。 ②は現在、進行中です。今後環境教育の要請があれば積極的に参加したいと思っています。 ③は企画事業を通じて、各学校、自治協議会とさらなる連携が出来る様、引き続き模索していきます。

15. 指定管理者企画事業の進捗状況

指定管理者 はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

番号	事業名	内容	実施 時期	回数	6年度事業名	詳細
1	生きもの探しウォーキングマイ レージ (生きもの観察会ビギナーズ)	希少性の高い生きものを探すと 高いポイントが獲得できる企画。 ウォーキング中に観察データ収集も協 力することに。	各月	随時	2月「バードウォッチング」 2月「初心者向けバード ウォッチング」	バイオームを活用し、バードウォッチ ング講座中に登録。バードウォッチング終 了後も自主的に生物登録を行ってもらっ ています。
2	生きものの声を聞く (生きもの観察会ビギナーズ)	利用者と集音器を使って、虫や 鳥の声を観察します。	5,10 月	年2回	7月夏休み特別イベント 「セミを大調査！」 10月「夜のはばたき公園で ライトトラップをしよう！」	セミ、夜間の鳴く虫を対象に観察しまし た。参加者が持参した集音機を使い、水 生昆虫の発する音も観察出来ました。
3	土の掃除屋さんを探せ (生きもの観察会ビギナーズ)	土づくりに欠かせないミミズ、ダ ニなどの土壌生物を探索 し、その役割学びます。コップ の体験教室と連携します。	10月	1回/年	7月夏休み特別イベント 「土の掃除屋さん①ダンゴ ムシ」 「土の掃除屋さん②ワラジ ムシ」	7月にダンゴムシ、ワラジムシを対象に学 び、2月にコンポストを作成しました。
4	セカンドライフの生きもの観察 (生きもの観察会ビギナーズ) 1) 生きもの写真教室 2) 草花観察・調査 3) 染めもの講座	定年などの人生の転機を迎えて セカンドライフを自然と共に送ろうと 考える方のためのセカンドライフ育 成プログラム	5月	講座毎	3月「シニア向け」はばたき 公園でセカンドライフ 「てぬぐい草木染め教 室」	「手ぬぐい草木染め教室」を実施しまし た。園内で採集したヨモギを使い、草木 染を体験していただきました。
5	押し花定規をつくろう (生きもの観察会ビギナーズ)	季節の花を観察し、お気に入りの 花で押し花定規を作成しま す。	4月	1回/年	5月「ようこそはばたき公園 へ！」	はばたきオープンイベント時に実施しま した
6	蝉取り (生きもの観察会ビギナーズ)	セミを捕まえ、抜け殻を集めて どんなセミが生息しているかを 観察します。	7,8月	随時	7月夏休み特別イベント 「セミを大調査！」	7月夏休みイベント時に「セミ調査」を実 施しました。アイランドシティに生息す るセミの種類を調べました。
7	プロ指導！はばたきバード ウォッチング (生きもの観察会ボランティア育 成コース)	野生生物リストによるバードウォ ッチング指導を行います。野鳥に関 するあらゆる情報について知識 を習得していただきます。 1) 入門コース 2) 初級コース 3) 中級コース	毎月 (7,8月 除く)	10回/年	バードウォッチング 初心者向けバードウォッチ ング	毎月第三土曜に、初めての方向けに丁寧 に指導する初級コースと経験者向けの生 態などに関する知識を身に付けてもらう 中級コースにわかれて実施しました。
8	湿地帯クルーズ (生きもの観察会ボランティア育 成コース)	イストラカと一緒に湿地帯を歩き ながら湿地の生きものの観察と 管理を体験していただきます。	奇数月	年6回	5月「ようこそはばたき公園 へ！」 7月「しぜん・いきもの調査員 養成講座」 9月、11月「はばたきレン ジャープロジェクト」 1月、3月「しぜん・いきもの 調査員養成講座」	5月オープンイベント、7月「陸上昆虫調査 ①」、9月「セイタカアワダチソウ除草」、11 月「ヨシ刈り」講座内にて参加者とともに解説 を交えながら湿地内を探索しています。
9	自然調査員体験 (生きもの観察会ボランティア育 成コース)	一般利用者にミクロン・モトを渡 し、それらのデータを蓄積し、大 学研究室などに提供する。	通年	随時	しぜん・いきもの調査員養 成講座	毎月第三土曜に「しぜん・いきもの調査 員養成講座」にて実施。トレイルカメラ 等の専門機材も使いながらデータを記録 しています
10	コンポストによる廃棄物の循環 (生きもの観察会ボランティア育 成コース)	園内残渣をリサイクルして、EP の在来菌や微生物を学びながら 循環型の環境保全を学びます。	12月	1回/年	2月「はばたきレンジャー プロジェクト」	湿地付近に新たなコンポストを作成し、 刈草を投入してたい肥作りを行いました。 た。
11	夜の昆虫観察キャンプ (生きもの観察会ボランティア育 成コース)	ライトトラップで光に集まる昆虫の観 察会を行います。	7,8月	2回/年	7月 夏休み特別イベント 「夜のいきもの観察会」 10月「夜のはばたき公園で ライトトラップをしよう！」	ライトトラップを行い、昆虫を誘引して 観察しました。飛来した昆虫の種類は記 録を行っています。

12	生きもの星空観望会	美しい芝生の上で専門家による 星空観望会を行います。	8月	1回/年	8月「はばたき公園で星ミ ネ！」	外部講師に來園いただき、解説を交えな がら園内から見える生物に関連する星座 を観察しました。
13	観察キットの貸し出し・販売	観察キットの貸し出しを行いま す。 虫キット：網、虫見板、シャーレ、顕 微鏡、画板、鳥キット：双眼鏡、カ ンター、収音器、ハドブック	通年	随時		双眼鏡、網、顕微鏡、貸出しています。
14	はばたき公園出張授業	近隣の学校へ当公園で行う自然 教室を通常授業（生活科・理 科・総合的学習の時間）を開催 します。（オリジナル授業） 出張授業は、学習指導要領に 則ったプログラムを基本にはばた き公園プログラムも可能です。	通年		6月「授業はばたき小学校2 年生」 10月「授業はばたき小学校 2年生」	6月にはばたき小学校に來園いただき、 ネイチャーガイドマナーが自然、 生きものなどの環境学習を行いました。
15	高校・大学向けのプログラム提 供	高校の授業や大学のゼミ、クラブ やサークル向けのプログラムを提供し ます。 ・ビオトープ管理士試験を 想定した管理実習講座 ・エコツアーや管理作業体 験ワークショップ ・研究データの提供や公園 内での収集支援	通年		7月「サポーター養成講座」 9月「西日本短期大学緑地環 境学科」 10月「福岡ECO動物海洋専 門学校」	7月ビオトープ管理士試験対策講座、福岡 ECO専門学校、西日本短期大学と連携 し、講座内で水生昆虫調査などを行いま した。
16	学びの教育・展示	生きもの展示にミニ講座開設を 添えたミュージアムの開設します。 担い手を育てる、講座を通して マニアな人を育てる、講座を通 じて現場で生きものを見ることが できる人を育てる、講座を通 じてファンを育てる、周辺の教 育機関と連携 ミニ博物（展示例） ○ 芽吹き草花と ○ 夏の昆虫 ○ 種子や木の実（むかし在 来） ○ 冬の渡り鳥（足跡教室）	通年	管理事 務所に 開設	管理事務所内	湿地内で採集した水生昆虫などの生体や 巣、標本を展示しています。随時自然物 に関する資料を収集し、展示コーナーを 拡大していています。
17	「科学の目」養成講座	湿地にいるいきもの、「ヒバリ」 「ツバメ」「イトナ」「ゲンジ ウ」など特定の生きものを題材 に生態から生活史をわかりやす く解説し、実験・体験を交える 事でその生きものを深掘してい ただき、理解を深めていただき ます。	毎月	12回/年	科学の目	毎月第三土曜日に実施しています。講座を 受けた後に湿地内で生体を観察し、住ん でいる環境などについても理解を深めて います。
18	はばたき公園出張授業レン ジャープロジェクト	「生きもの」にやさしい公園・ 場所づくりを参加者とともに目 指す目的としてレジャープロ ジェクトを立ち上げます。レジャーは外来 種駆除・池の泥上げ・草刈り・ いきもの調査などを担当してい ただき、各年齢層（ジュニア・シ ニア）に応じたミッションを遂行 していきます。	毎月	12回/年	はばたきレンジャープロ ジェクト	毎月第三日曜日に実施しています。月に よって対象年齢層を変えて年齢層に応じ た調査や管理作業を行っています。
19	バードハイドづくり	園内の葦等を使用したバードハ イドの観察基地の作り方を体験し ます。	11月	1回/年	2月「はばたきレンジャー プロジェクト」	園内で刈り取ったヨシを使い、より老若 男女問わず観察しやすいバードハイドの 作成を行いました。
20	湿地清掃ボランティア	湿地帯の清掃、外来種の除去。 事前に外来種などが及ぼす影響 のについて学び、参加者で 清掃、外来種の除去等を行いま す。その際、ゲーム感覚で楽しめ る様、工夫を凝らします。	通年	12回/年	はばたきレンジャープロ ジェクト	毎月第三日曜日に実施しています。ヨシや コウキヤガラ、ナルトサワギクなどの除 草の他、外来種駆除も手伝っていただい ています



毎月1日と15日園外に出て清掃活動を行っています。



はばたき小2年生の環境学習です



同じく、はばたき小2年生の環境学習です。全120名の生徒が来園しました。



星空観察の事前ガイダンスです。
これから外に出て、観察を始めます。
「生きもの」の名前が付いた星座を
観察します。



開園セレモニーでお世話になった
はばたき小学校6年生に、その後
のはばたき公園のお話をしました。



福岡 ECO 専門学校の生徒の皆さん
と一緒に、水生昆虫の調査を
しました。



「科学の目」の講義中です。



「しぜん生きもの調査隊」が虫取りに出発します。



西短大の学生と草抜きです。



バードウォッチングです。



草抜き作業中です。



セイタカアワダチソウの
除去作業中です



水質調査作業中です。



ソーティング作業中です。



ウシガエルのオタマジャクを捕獲しました。

鳥類の調査です。

潮の満潮時を選んで行います。





自然生きもの調査隊の講座です。



ウシガエルとオタマジャクシを捕獲しました。

はばたき公園周辺 ゴミ拾い活動

アイランドシティをはばたき公園スタッフと
一緒に綺麗にしませんか？

参加申込不要です
飛び入り参加大歓迎！



日にち

1月15日(水)

時間

10時～12時(9:45～受付開始)

集合場所

はばたき公園事務所

お問い合わせ

mail:sougouannai@habataki-park.jp
tel:092-692-7525

はばたき公園
毎月第3週土日
イベント

10月

イベント情報



9:00~10:30 参加費:300円

バードウォッチング
(小学生以上)

はばたきバードウォッチング
専門家によるバードウォッチング指
導を行います。種の判別や探し方、
生態説明、その他の豆知識など野鳥
に関するあらゆる情報について観察
しながら知識の習得をできます。

10:45~12:15 参加費:300円

初心者向けバードウォッチング
(小学生以上)

専門の講師の指導の下、双眼鏡の使
い方、鳥たちの種類や特徴を楽しく
学ぶことができます。

初心者の方でも、ゆっくりと時間を
かけて自然の中で鳥たちとの出会い
を楽しんでみてください。親子で
のご参加もお待ちしております。

ご予約・お申込み

お申込み・お問い合わせ連絡先

【TEL】092-692-7525

【FAX】092-692-7528

【MAIL】sougouannai@habataki-park.jp(総合案内)

イベント申込みは上記専用フォームにて、10月1日より各講座20名ずつ先着順に受付いたします。

受付後、メールにて参加決定者には詳細案内をお送りいたします。

※各講座未就学児の参加は保護者同伴でお願いします。

小学生対象



13:30~15:00 参加費:300円

科学の目シリーズ
今回のテーマは「カマキリ」

夏の終わりから秋にかけて
活発になる大きく立派なカマが
トレードマークの「カマキリ」たち
今回はそんな「カマキリ」の秘密に
迫ります。みんなで楽しくカマキリ
博士を目指しましょう！



15:30~17:00 参加費:300円

しぜん・いきもの調査員養成講座
今回は「外来生物を知ろう！」

最近よく耳にする、日本や世界で大
きな問題となっている外来生物とは
何なのか？園内でみられる外来生物
を実際に調査しながら専門家と一緒
に楽しく学びます。



13:30~15:00 参加費:無料

みんなでつくろう！サポーター養成講座
今回は「野生生物の知識や管理」

園内の湿地に集まる野鳥を始めとし
た、様々な野生生物についての知識
について、また野生生物に配慮した
園内管理について、より良い管理の
方法はないか等、みなさんと一緒に
学び考えてみたいと思います。

参加者大募集中！



15:30~17:00 参加費:無料

はばたきレンジャープロジェクト⑥
今回は「湿地の整備作業①」

湿地の水量を管理する為に欠かせな
い数力所の水路の除草、湿地内の石
の除去等、湿地全体の整備作業を行
います体を動かすのが好きな方お待
ちしております。

イベント申込みフォーム



はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

湿地エリアOPEN

人と自然が
共生する空間

Island city
Habataki
park

アイランドシティ はばたき公園

はばたき公園とは……

このアイランドシティはばたき公園(約12ha)は、
和白干潟や海域等と機能分担しながら、
多様ないきものの生息空間を創出するとともに、
人と自然との共生を象徴する空間を目指し、
公園のいきものや色々な活動を通して
たくさんの皆さまとつながり
より良い公園へと成長させていく公園です。

はばたき公園の「湿地」とは…

今年4月24日にOPENした「湿地」エリアは、
公園の東側に位置し、雨水による
人工の淡水湿地として、水辺に集まる水鳥を初め
様々な野鳥を中心とした多様ないきものが
生息する環境となっています。
その他のエリア及び施設は、時期をずらして
整備を行い随時オープン予定です。

アイランドシティはばたき公園

利用時間:年中無休

管理事務所:9:00~17:00(管理事務所閉館日12月29日~1月3日)

連絡先:【TEL】092-692-7525 【FAX】:092-692-7528

【MAIL】:sougouannai@habataki-park.jp(総合案内)

イベント情報や公園詳細はこちら 🔍



はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

10月12日(sat)
18:30~20:30(18:15集合)

夜の湿地で 秋の特別イベント開催!!!

夜のはばたき公園には
色々な昆虫たちが集まります
そんな昆虫たちをライトトラップで
呼び寄せて観察してみよう!
どんな昆虫たちと出会えるかな?
みんなぜひ会いに来てね!



ニイニイゼミ



アオドウガネ



ケラ



コフキコガネ

アイランドシティ
環境学習センター
18:15集合

夜のはばたき公園で ライトトラップをしよう!

参加費 1人 500円

募集人数 20名

申込方法

イベント申込みは、HPの申込みフォームにて10月1日より先着順に受付いたします。

「日付」と「イベント名」などを入力しお申込み下さい。

受付後、参加決定者にはメールにて詳細案内をお送りいたします。

※保護者様が同伴する場合も1人分の参加費を頂きます予めご了承ください。

※未就学児の参加は保護者同伴をお願いします。

大募集!

お申込み・お問い合わせ連絡先

アイランドシティはばたき公園 〒813-0017 福岡県東区香椎照葉7丁目

【TEL】 092-692-7525 【FAX】 092-692-7528 【MAIL】 sougouannai@habataki-park.jp(総合案内)

イベントのお申込みは
[こちらのQRから→](#)



アンケートのご協力
お願いいたします。

あ 当てはまるものにチェックを入れてください。

イベントアンケート

記入例	☒ 福岡県内	☐ 福岡県外	記入日	年	月	日	イベント名
-----	--	-------------------------------	-----	---	---	---	-------

ISLANDCITY HABATAKI

Q1	きょう 今日はどこから来ましたか？	☐ ひがしくない 東区内	☐ ふくおかしない 福岡市内	☐ ふくおかけんない 福岡県内	☐ ふくおかけんがい 福岡県外				
Q2	どうやって来ましたか？	☐ じかようしゃ 自家用車	☐ じてんしゃ 自転車	☐ バイク	☐ バス	☐ でんしゃ 電車	☐ とほある 徒歩(歩き)	☐ のるーと	
Q3	なん 何さいですか？	☐ 1～3年生	☐ 4～6年生	☐ 中高生	☐ 20代	☐ 30代	☐ 40代	☐ 50代	☐ 60代以上
Q4	だれ 誰と来ましたか？	☐ かぞく 家族	☐ ゆうじん 友人	☐ 1人	☐ その他				
Q5	はばたきこうえんにははじめてきましたか？	☐ まいにち 毎日	☐ しゅう2～3かい 週2～3回	☐ しゅう1かい 週1回	☐ つき2～3かい 月2～3回	☐ つき1かい 月1回	☐ ねん2～3かい 年2～3回	☐ それ以下	☐ はじめて
Q6	こうえん 公園はどうでしたか？	☐ かんきようほぜん 環境保全に役立つ	☐ がくしゅう 学習のきっかけになる	☐ うんどう 運動ができる	☐ いや 癒される	☐ あんぜん 安全だった	☐ たのしみ 楽しめた		
Q7	イベントはたのしみでしたか？	☐ たのしみ 楽しめた	☐ ふつう 普通	☐ たのしみなかった (理由をお書きください)					
Q8	またさんかしたいと思いましたか？	☐ した 思った	☐ つごうあ 都合が合えば	☐ した 思わない	☐ わからない				
Q9	イベントじょうほうはどこで知りましたか？	☐ こうえんHP 公園HP	☐ しせい 市政だより	☐ こうきうしせつ 公共施設でのチラシ	☐ がっこう 学校での配布物	☐ SNS等	☐ その他 (どうやって知りましたか？)		
Q10	こんご 今後どんなイベントがあればよいと思いますか？								
Q11	なに かんそう いけん 何か感想・意見などがあればお書きください								

きにゆう ご記入ありがとうございました。アンケート用紙はお近くの公園スタッフに手渡すか、管理事務所の受付にお渡しください。本日のご利用ありがとうございました。

はばたけ！ はばたき公園 スプリングフェスタ

バルーンアートや
水風船もあるよ！

3月15日(sat)-3月16日(sun)

定期イベント
同時開催！



詳細は
こちら

2025年4月27日に1周年を迎えるはばたき公園。

そんな1周年を記念して特別イベントを開催します。

どなたでもご参加いただけるワークショップやイベントを開催。

当日参加OK！ お気軽にお立ち寄りください！

チョークイベント



参加費 500円
(保険費含む)

はばたき公園事務所前に、
環境にやさしい
チョークを使って、
自由にお絵描きしよう！
6色入りチョークの購入を
参加費とします。

3月15日イベント

- バードウォッチング 9:00~10:30 参加費：300円
- ゴミ拾い活動 10:00~12:00 参加費：無料
- 初心者向け
バードウォッチング 10:45~12:15 参加費：300円
- 科学の目「ウグイス」 13:30~15:00 参加費：300円
- しぜん・いきもの
調査員養成講座
「早春のいきもの調査」 15:30~17:00 参加費：300円

3月16日イベント

- サポーター養成講座
「2024年度調査報告会」 13:30~15:00 参加費：無料
- はばたきレンジャー
プロジェクト
「ナルトサワギク抜き」 15:30~17:00 参加費：無料

いきもの ワークショップ

各300円



いきもの雑貨販売

いきものをモチーフにした
小物を販売します



野鳥刺繍入り
トートバッグ
各3500円

バードコール
制作キット
各2000円

はばたきエコパーク・マネジメントチーム共同事業体

開館日：年中無休（12月29日~1月3日は閉館）

利用時間：9:00~17:00

連絡先：☎ 092-692-7525 FAX 092-692-7528

■sougouannai@habataki-park.jp

アイランドシティ
はばたき公園



HP



HABATAKI PARK



花の種引体験

NEWSLETTER

ニュースレター

はばたき公園

05

2025/3月
総集号



ホオアカ



ミサゴ



ショウビタキ(♂)



オナガガモ(♂)



ダイサギ



セイタカシギ



マガモ(♀)



イソシギ



タヌキ



ウスバキトンボ

はばたき公園 1年間の活動まとめ

はばたき公園の湿地の中や周辺の草地には、さまざまないきものがくらしています。そんな自然環境を守るため、湿地の手入れや公園内のいきもの調査、環境教育活動としてイベントなどを行っています。今回は、総集号ということでその活動内容や結果を報告していきます。

鳥の調査

鳥の調査は、園内の湿地や周辺の草地、海岸に生えている鳥の数や種類を、毎日2回と、月ごとに2～4回くわしく調査して記録しています。季節ごとにいろいろな鳥を確認することができ、令和6年度は、全部で81種類の鳥たちがきていました。



ツクシガモ



オオヨシキリ



ヒクイナ



ハイタカ



ツリスガラ



ヘラサギ

※絶滅危惧種：ここでは「環境省レッドデータブック2020」にのっている種または、「福岡県の希少野生生物一福岡県レッドデータブック2011」にのっている種
環境省から絶滅危惧種に指定されている種、福岡県から絶滅危惧種に指定されている種がいる



海側の調査の様子



湿地の調査の様子

はばたき公園で確認された絶滅危惧種
数が減っていて、今後いなくなるかもしれない生き物

18種

カモ科	ツクシガモ	環境省	福岡
サギ科	チュウサギ	○	○
トキ科	クロツラヘラサギ	○	○
トキ科	ヘラサギ	○	○
クイナ科	ヒクイナ	○	○
シギ科	セイタカシギ	○	○
シギ科	タカフシギ	○	○
シギ科	アカアシシギ	○	○
シギ科	ハマシギ	○	○
タカ科	ミサゴ	○	○
タカ科	ハチクマ	○	○
タカ科	ハイタカ	○	○
タカ科	サンバ	○	○
ハヤブサ科	ハヤブサ	○	○
モズ科	アカモズ	○	○
ツリスガラ科	ツリスガラ	○	○
ツバメ科	コシアカツバメ	○	○
ヨシキリ科	オオヨシキリ	○	○

植物の調査

湿地に育つ植物の種類を知るために、年2回、4月と7月に専門家が植物の調査を行っています。

令和6年度は、在来種55種、外来種49種類が確認されました。



調査の様子



特定外来生物の駆除

公園内には特定外来生物であるナルトサワグクやウシガエルがいます。特定外来生物はもともと日本にいらしていたいきものたちに大きな影響をあたえてしまうので、駆除を行っています。



わな設置



ナルトサワグク抜き

イベントの様子

いきものやしぜんについて楽しく学んでもらうため、イベントを毎月第3土曜日・日曜日に行っています。夏休みや春休みなどの長期休み中には、特別なイベントも行いたくさんの方に参加していただきました。

第3土日イベント

- ・バードウォッチング講座
- ・科学の目シリーズ
- ・しぜん・いきもの調査員養成講座
- ・サポータ養成講座
- ・はばたきレンジャープロジェクト

その他イベント

- ・ゴミ拾い活動（毎月1・15日）
- ・ようこそはばたき公園
- ・湿地ツアー、ワークショップ

特別イベント

- 夏休み
 - ・土の掃除屋さん
 - ・目指せ鳥博士
 - ・セミを大調査
 - ・セミの標本作り
 - ・夜の公園でライトトラップ観察
 - ・生き物星空観察
- 秋休み
 - ・夜の公園でライトトラップ観察



バードウォッチング講座



レンジャープロジェクト



ゴミ拾い活動



ライトトラップ観察



セミの標本作り



ワークショップ

水の中のいきもの調査

池の中にくらす昆虫を池の底のどろごとあつめて、ソーティング（どろから昆虫や貝を取り出す作業）を行い、昆虫などの種類と数を調べていきます。令和6年度は、52種類の昆虫がいました。



ソーティング作業中



コブゲンゴロウ



オモナガコミズムシ



ギンヤンマ



アオモンイトトンボ



マイコアカネ



ナミアメンボ



ナガレカタヒロアメンボ



ミズカマキリ



ヒル目



コオイムシ

※絶滅危惧種：ここでは「環境省レッドデータブック2020」または、「福岡県の希少野生生物一福岡県レッドデータブック2014」にのっている種

外来種

もともと日本にいない海外からきた生き物
サカマキガイ 福岡県侵略的外来種リスト2018
要注意対策外来種

絶滅危惧種

数が減っていて、今後いなくなるかもしれない生き物

7種

環境省	福岡県
オツネイトンボ	○
オモナガコミズムシ	○
コオイムシ	○
ミズカマキリ	○
コガタノゲンゴロウ	○
ウスイロシマゲンゴロウ	○
コガムシ	○

学校の授業への協力

近くの小学校や、大学、専門学校、短大などさまざまな学校がはばたき公園を利用しています。園内の見学、学校の課外活動、湿地内でのいきもの調査や、湿地のお手入れなどを行ってくれました。



西日本短期大学



福岡ECO動物海洋専門学校

はばたき公園のこれから

今年の春に、新たなエリアとして、大きなしばふ広場と海岸沿いを歩ける遊歩道がオープンします。来年オープンするつきやまには楽しい遊具もできる予定です。今後も、みなさんがよりいきものについて楽しく学んだり、友達や家族と遊んだりできる、楽しい公園になっていきます。少しずつオープンしていくエリアに、ぜひ遊びに来てください！



あおエリア
海岸沿い遊歩道
今年の春頃 オープン

みどりエリア
しばふ広場
今年の春頃 オープン

あかエリア
つきやま（遊具設置）
2026年 完成予定